

# JADA加盟団体 2023年度アンチ・ドーピング教育年間計画 【策定ガイド】

2022年11月 日本アンチ・ドーピング機構



【本件に関するお問い合わせ先】  
JADA教育部

E-mail : [JADA-Education@playtruejapan.org](mailto:JADA-Education@playtruejapan.org)

# 教育年間計画 運用サイクル

## ①教育年間計画策定・提出

## ②計画内容へのガイダンス、適正性の検証

## ③進捗の確認、教育アクティビティ実施報告等

## ④実地オブザーブ、フィードバック等

## ⑤年次の自己評価・報告

## ⑥達成度の確認・評価等

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



WADA監査への  
対応  
国内活動報告



日本規程  
署名当事者

JOC, JPSA/JPC,  
JSPO,NF

ドーピングに対するリスク等によって、JADA加盟団体をグループに分けて管理

②④⑥は各グループによって「実施年度」、「目標とする達成度」が異なります

# 2023年度 教育年間計画の提出

## ① 日本スポーツ振興センター（JSC）のスポーツ振興くじ助成金（toto助成）・スポーツ振興基金助成金の助成を申請する加盟団体（NF）の場合

交付申請書類とあわせ、「組織図（アンチ・ドーピング委員会が明示されているもの）」  
「最新のアンチ・ドーピング委員名簿」「2023年度教育年間計画」を、[JSCへ直接提出](#)することが助成申請時には求められます。

**提出期限 それぞれの助成金申請時に併せて提出**

## ② ①に該当しない、JADA加盟団体（NF）の場合

「2023年度教育年間計画」を[JADA \(jada-education@playtruejpana.org\)](mailto:jada-education@playtruejpana.org)へ直接提出ください

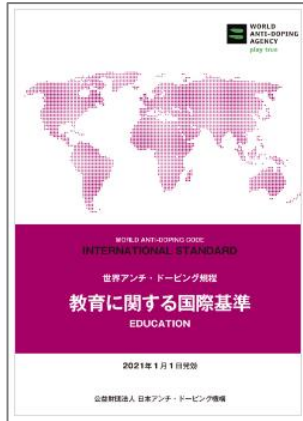
**提出期限 2023年1月13日（金）**

教育計画のフォーマットは、必ず「2023年度版」を使用ください。  
JADAのWEBサイトからダウンロードください

# 2023年度教育計画策定 提出内容とステップ°



# 参考となる資料



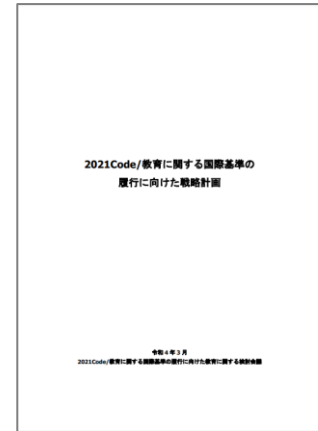
教育に関する国際基準

[https://www.playtruejapan.org/entry\\_img/kyouiku\\_jp.pdf](https://www.playtruejapan.org/entry_img/kyouiku_jp.pdf)



Guidelines for the International Standard for Education

[https://www.wada-ama.org/sites/default/files/resources/files/guidelinesforeducation\\_final.pdf](https://www.wada-ama.org/sites/default/files/resources/files/guidelinesforeducation_final.pdf)



2021Code/教育に関する国際基準の 履行に向けた戦略計画

[https://www.playtruejapan.org/activity/plan\\_2021code.html](https://www.playtruejapan.org/activity/plan_2021code.html)

# 教育年間計画策定のステップ°



1. **教育ターゲット**を設定する



2. 各ターゲットに対する**年度目標**を設定する



3. **教育アクティビティ**を計画する



4. 各ターゲットの**アクティビティ目標**を設定する

承認Educatorが担う



5. 各教育アクティビティで扱う**トピックス**を設定する



6. 各教育アクティビティの**学習目標**を設定する



7. **モニタリングと評価**を設定する



8. 計画を**共有**する  
(団体内、JADA)

承認Educatorが担うステップ以外を、教育年間計画に記載

# 2023年度 教育年間計画フォーマット

## 2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟
種目名	YYY
計画承認者	(印) XXX

※制作年度

教育プログラム全体の目的	強化プランに掲げるスポーツを通して社会にポジティブな影響を与え、アスリート、サポートスタッフを育成する。特に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを表明、体験できる。アスリートサポートスタッフへの教育が不可欠である。インテグリティ教育（その中のアンチ・ドーピング）を、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートとサポートスタッフが確実にスポーツに意欲的になり、また次世代のアスリートへ良い影響を与えらるべきプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バド2024への出場権がかった国際競技大会において、派遣の前の教育を確実に実施する。今後、派遣の前の教育を受けることが当たり前のようになり、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ。</li> <li>●クリーンスポーツEducator制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認研修に参加させる。</li> </ul>

クリーンスポーツ教育の目的	教育プログラムを通して、学習者は、知性、スキルを使い、自信を持つことで、スポーツを生涯を通して楽しむことができる。さらにソーシャルスキルとエモショナルスキルを学び、ライフスキルとして人財を向上させることができる。それらを通して、自分で意思決定できる。また、スポーツの価値、チカラを自分の生活にどう活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を作ることができる。教育プログラムを通して、特長にスポーツの価値を社会で体現していく人材が育ち、より良い社会を創ることができると期待される。
---------------	--

8 計画を共有する

ターゲットの カテゴリ	教育ター ゲット	人数	未成年を 含む	ターゲットに 関する 証書	教育ターゲット における成果、 ニーズ ＜現状分析＞	教育ターゲットに 対する年度目標	教育 アクティビティ の提供 ＜プログラム＞	教育実施者 ※対面教育（オンライ ン）の場合、承認 Educatorが実施	アクティ ビティ のタイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料 クリーンアスリート ガイド ＜プログラム＞	クリーンアス リートガイド注 意事項	教育アクティ ビティ目標	実施モニタ リング 項目	評価方法 定量 定性	希望するJADA との連携 ＜プログラム＞	メモ NOTE ※アクティビティ計画 のねらいと記載
国際競技連盟（IF） 主要国際競技大会					2024年大会の出場権 獲得と関係する大会	大会開催： 2023年11月 XX日（ロンドンイリ ス）	大会開催前と、海外 遠征に出るアスリートが参 加するため、アスリート自身 の教育を受ける	山田 伸	2023年8月1日 まで	国際競技連盟（IF） 主要国際競技大会	クリーンアスリート ガイド ＜プログラム＞	大会開催前と、海外 遠征に出るアスリートが参 加するため、アスリート自身 の教育を受ける	大会開催前と、海外 遠征に出るアスリートが参 加するため、アスリート自身 の教育を受ける	大会開催前と、海外 遠征に出るアスリートが参 加するため、アスリート自身 の教育を受ける	大会開催前と、海外 遠征に出るアスリートが参 加するため、アスリート自身 の教育を受ける	大会開催前と、海外 遠征に出るアスリートが参 加するため、アスリート自身 の教育を受ける	大会開催前と、海外 遠征に出るアスリートが参 加するため、アスリート自身 の教育を受ける

1 教育ターゲットを設定する

2 各ターゲットの年度目標を設定する

3 教育アクティビティを計画する

4 アクティビティ目標を設定する

7 モニタリングと評価を設定する

# 2023年度 教育年間計画の入力必須欄

**2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 【記入例】**

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟		
種目名	YYY		
計画承認者	(印欄)		XXX

**教育プログラム全体の目的**

強化プランに掲げるスポーツを通して社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する。特に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを築き、体現できる。アスリートとサポートスタッフへの教育を年次計画とする。

**2023年度の競技団体としての教育の達成目標**

- バド2024への出場権がかった国際競技大会について、派遣前の教育を確実に実施する
- 今後、派遣の前に教育を受けることが必要となる。アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者等全員に共通認識を持つ
- クリーンスポーツEducator制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認研修に参加させる

**報告者氏名**

**クリーンスポーツ教育の目的**

教育プログラムを通して、学習者は、価値、スキルを使い、自信を持つことで、スポーツを生涯楽しむことができる。さらにソーシャルスキルとエモショナルスキルを学び、ライフスキルとして人間性を向上させることができる。それらを通して、自分で意思のある意思決定ができる。また、スポーツの価値、スキルを自分の生活方法にどのように活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。教育プログラムを通して、結果的にスポーツの価値を社会で体現していける人材が育ち、より良い社会を創ることができる。

教育プログラムを通して、学習者は、価値、スキルを使い、自信を持つことで、スポーツを生涯楽しむことができる。さらにソーシャルスキルとエモショナルスキルを学び、ライフスキルとして人間性を向上させることができる。それらを通して、自分で意思のある意思決定ができる。また、スポーツの価値、スキルを自分の生活方法にどのように活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。教育プログラムを通して、結果的にスポーツの価値を社会で体現していける人材が育ち、より良い社会を創ることができる。

計画教育を実施する際は、必ず承認Educatorが主体的に計画を行ってください

ターゲットのカテゴリー	教育ターゲット	人数	未成年を含む	ターゲットに関する事項	教育ターゲットにおける実施、ニーズ<取組分析>	教育ターゲットに対する年度目標	計画的に実施された教育要件	教育アクティビティの提供<プログラム>	教育実施者 ※対面教育(オンライン等)の場合、承認Educatorが実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティビティ目標	実施モニタリング項目	評価方法		希望するJADAとの連携<プログラム>	メモ ※アクティビティ計画のあらいなど記載		
												クリーンアスリートガイド<プログラム>	クリーンアスリートガイド以外のもの			定量	定性				
E 国際競技連盟(バド)主催国際大会への派遣アスリートおよびサポートスタッフ 5年次例含む	2023 世界選手権 派遣アスリート サポートスタッフ	15	0	大会開催: 2023年11月 XXX日~11月 YYY日 (ロンドン:バド) X)	・前半練習前と後半、海外遠征に出るアスリートが多いため、アスリートは必ず必要知識、必要なスキルを身につける必要がある。 ・競技大会出場のための準備、派遣前の教育を受ける必要がある。 ・JADA、RTAが実施されるため、派遣前研修に際しても必要知識。	●1日のスケジュールについて、ルールを学ぶ。海外遠征に必要スキルを身につける。 ●派遣前研修、海外遠征に出るアスリートは必ず必要知識、必要なスキルを身につける必要がある。 ●JADA、RTAが実施されるため、派遣前研修に際しても必要知識。	<input checked="" type="checkbox"/>	A-1	派遣前ワークショップ (オンライン)	山田 博	2023年8月1日 まで	高野山ナショナルトレーニングセンター (東京)	国際ヘルプアスリートガイド	AGEEトレーニングガイド Fastchat	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が派遣前ワークショップに参加する	・参加人数 ・学習者アンケート ・教育実施者からのフィードバック	●参加者人数	●教育実施者からのフィードバック ●学習者アンケート			【教育内容】 JADA、RTAが実施されるため、派遣前研修に際して必要知識、必要なスキルを身につける必要がある。
							A-2	NPOのメンタリングリスト	2023年6月末	—	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が派遣前ワークショップに参加する	・メンタリングリスト ・教育実施者からのフィードバック			【教育内容】 JADA、RTAが実施されるため、派遣前研修に際して必要知識、必要なスキルを身につける必要がある。						
							A-3	NPOのメンタリングリスト	2023年9月末	—	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が派遣前ワークショップに参加する	・メンタリングリスト ・教育実施者からのフィードバック			【教育内容】 JADA、RTAが実施されるため、派遣前研修に際して必要知識、必要なスキルを身につける必要がある。						

- ◆ フォーマット上で色がついている欄は入力必須欄
- ◆ それ以外の欄については、現時点で入力できる範囲で入力



**教育プログラム全体の目的  
2023年度の競技団体としての  
教育の達成目標**

# 2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

## 2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟
種目名	YYY
計画承認者	(役職) XXX

※制作年度

教育プログラム全体の目的	強化プランに拠るスポーツを通じて社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する(注)には、更に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを表明、体験できる。アスリートサポートスタッフへの教育が不可欠である。インテグリティ教育(その中のアンチ・ドーピング)を、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートサポートスタッフが確実にスポーツに還元し、また次世代のアスリートへ良い影響を与えることができるようプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バド2024への出場権がかった国際競技大会において、派遣の前の教育を確実に実施する 今後、派遣の前に教育を受けることが当たり前となるよう、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ</li> <li>●クリーンスポーツEducator制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認候補に参加させる</li> </ul>

クリーンスポーツ教育の目的	<p>教育プログラムを通して、学生は、知性、スキルを使い、自信を持つことで、スポーツを生涯を通して楽しむことができる。さらにソーシャルスキルとエモショナルスキルを学び、ライフスキルとして人権を向上させ続けることができる。それらを兼ねて、自分で意思決定する能力を定めていく。</p> <p>また、スポーツの価値、チカラを自分の生活にどうにかに活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。</p> <p>教育プログラムを通して、特長にスポーツの価値を社会で体験していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。</p>
---------------	--

- 年間計画に記述のないものは、原則実行していません
- 教育ターゲットや、JADAが定める競技カテゴリーに基づく上層によって、ご報告に添った場合が異なります
- JADA-Educatorの派遣には要件があります(検討の際は、事前にご確認ください)

※派遣率の人数を記載していただき、人数が不明な場合は、「不明」と記載してください。										※異なるターゲットに合同（共通）の研修会を実施する場合は、同一であることがわかるように、同じ番号を入れてください。										※Educatorが主体的な研修を行っていただきます。																		
ターゲットの カテゴリ	教育ター ゲット	人数	未成年 を含む	ターゲットに 関する 証書	教育ターゲット における資源、 ニーズ ＜観察分析＞	教育ターゲットに 対する年度目標	EPAから提供 された教育 要件	教育 アクティビティ の種類 ＜プログラム形式＞	教育実施者 ※対面教育（オンライン） の場合、承認 Educatorが実施	アクティ ビティ のタイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティ ビティ目標	実施モニタ リング 項目	評価方法/方法		希望するJADA との連携 ＜プログラム形式＞	メモ NOTE ※アクティビティ計画 のねらいと記載																			
												クリーンアスリート ガイド ＜プログラム形式＞	クリーンアス リートガイド 以外のもの			定量	定性																					
国際競技連盟（IF） 主催国際競技大会 への派遣アスリート および サポート スタッフ ※年代別を含む	2023 世界選手権 派遣アスリ トとサポ ートス タッフ	15	0	大会開催： 2023年11月 XX日～11月 YY日 （ロンドンイ ズ）  ●11月大会の出場のため の要件が厳格に定められ ている  ※JADA、RTPが参加され るため、関係者（関係者） も参加したい	●11月大会について、も とに教育プログラムは必 ず実施する  ●教育がクリーンスポーツ 行動を促すために、派遣 前に、サポートスタッフ の教育を受ける必要がある とされている  ●JADA、RTPが参加され るため、関係者（関係者） も参加したい	A-1 対面ワークショップ（オンライン）	山田 伸	2023年8月1日 まで	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）																		
																					A-2	研修会のマーケティングリスト	2023年6月末	－	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）
																					A-3	研修会のマーケティングリスト	2023年9月末	－	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）	両国大会 センター （東京）

# 2023年度教育年間計画での記載

P13-14に記載された「2021Code/教育の国際基準に基づく教育」の目的を参考に、各競技団体（及びIF）の方針も踏まえながら、「教育プログラム全体の目的」「2023年度の競技団体としての教育の達成目標」を入力

教育プログラム 全体の目的	強化プランに掲げる「スポーツを通して社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する」には、単に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを表現、体現できるよう、アスリートとサポートスタッフへの教育が不可欠である。 インテグリティ教育（その中のアンチ・ドーピング）を、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートとサポートスタッフが誠実にスポーツに取り組み、また次世代のアスリートへ良い影響を与えることができるようプログラムを構築する。
2023年度の 競技団体としての 教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none"><li>●パリ2024への出場権がかかった国際大会について、派遣の前の教育を確実に実施する 今後、派遣の前に教育を受けることが当たり前となるよう、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ</li><li>●クリーンスポーツEducator制度の導入により、Educator候補者1名を選出し、承認研修に参加させる</li></ul>



## 「2023年度の競技団体としての教育の達成目標」

競技団体として、重点をおく教育ターゲットや、その教育内容について達成目標として入力  
また、教育推進体制の構築の観点からの目標についても、合わせて入力

（教育推進体制の構築の例）

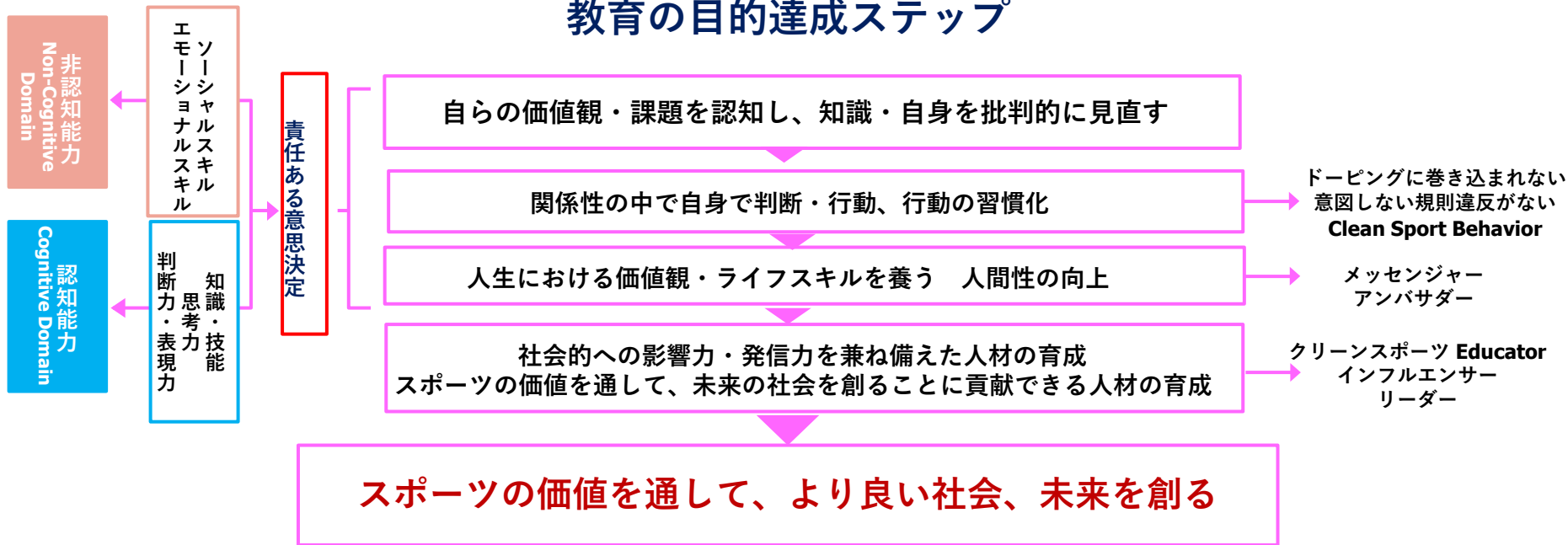
- ・承認Educator候補者を選出し、承認研修に参加させる
- ・より良い計画策定、アクティビティ実施のために、強化や育成の担当部署と四半期に1度打合せを行う

# 「教育」の目的：学習者の育てたい資質・能力／コンピテンシー



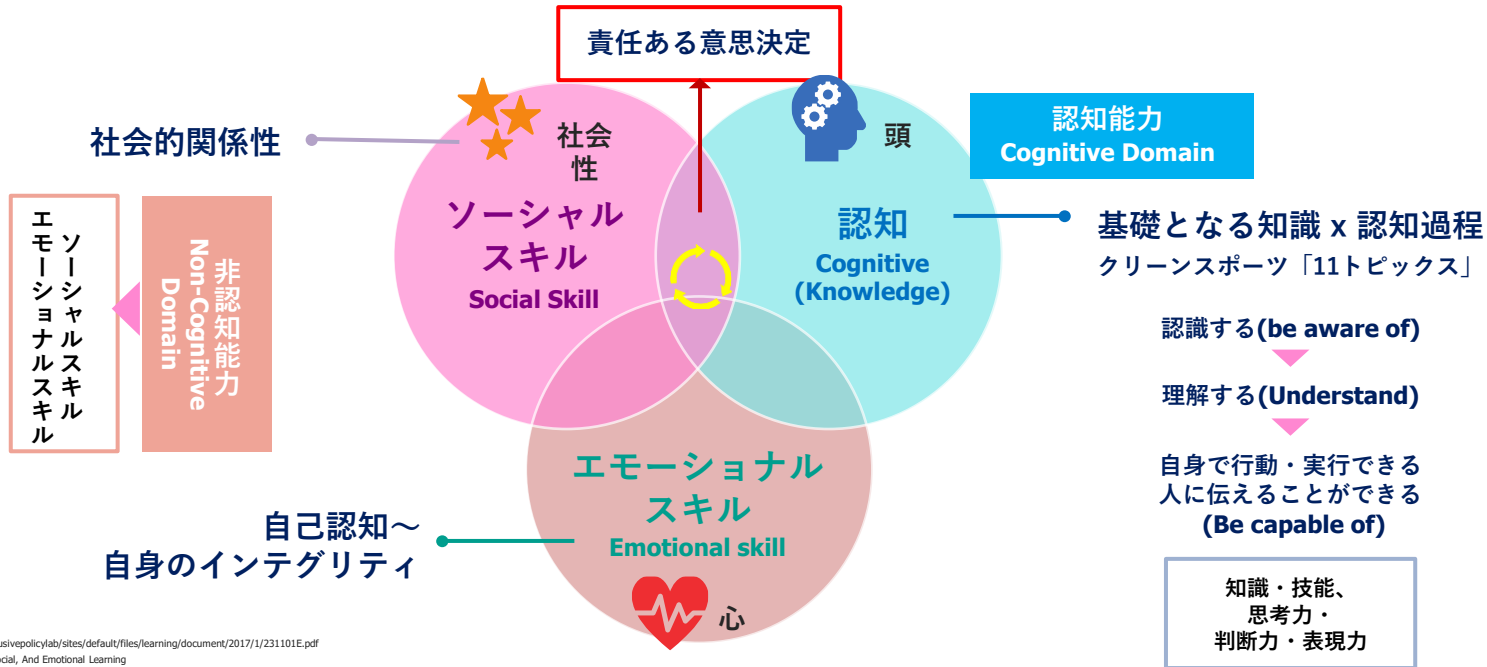
育てたいコンピテンシー

## 教育の目的達成ステップ



# 「教育」の目的：学習者の育てたい資質・能力／コンピテンシー

2021Code/ISEに基づき、責任ある意志決定を促し、ライフスキルを養うための、育てたい資質・能力の基盤となる  
「認知能力」と「非認知能力」の考え方



UNESCO (2015) <https://en.unesco.org/inclusivepolicy/lab/sites/default/files/learning/document/2017/1/231101E.pdf>

CASL (2017) Collaborative for Academic, Social, And Emotional Learning

石井 (2002) 『「改訂版タキソノミー」によるブルームタキソノミーの再構築』

Anderson, L. W. & Krathwohl, D.R., et al (2001) A taxonomy for learning, teaching and assessing: A revision of Bloom's taxonomy of educational objectives. New York: Longman

# 1

## 教育ターゲットを設定する

### 教育年間計画策定のステップ



1. 教育ターゲットを設定する



2. 各ターゲットに対する年度目標を設定する



3. 教育アクティビティを計画する



4. 各ターゲットのアクティビティ目標を設定する



5. 各教育アクティビティで扱うトピックスを設定する



6. 各教育アクティビティの学習目標を設定する



7. モニタリングと評価を設定する



8. 計画を共有する  
(団体内、JADA)

承認Educatorが担う

## 2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競投団体名	公益財団法人日本XX連盟		
標目名	YYY		
計画承認者	(役職)		XXX

<p><b>教育プログラムの 全体の目的</b></p>	<p>強化プログラムに「グローバルな視点で社会にポジティブな影響を与えるリーダー、サポートスタッフを育成する」に、即ち「競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのイノベーションを創出、社会で活躍する。」「リーダーシップとサポートスタッフの育成」が重要な役割を担っています。</p> <p>インクルーシブ教育（すべての学生がリーダーシップを、競技力だけでなくスポーツで成功し、また世代的なステータスに関わり合いを築くことができるようなプログラム）を構築する。</p>
<p><b>2023年度の 競技団体の 教育と選抜目標</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2024年1月の出場が「かかた」国際競技大会において、派遣の教育を確実に実施する 今後、派遣の教育を要するに十分な選手を、リーダー、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共同で確保し維持</li> <li>●「アスリート」を「Educator」候補の個人として、Educator候補者1名を派遣し、承認資格に合格させる</li> </ul>

## ステップ1-1： 教育ターゲットの入力

## ステップ1-2：教育ターゲット詳細の入力

				※未成年の人数を超過している場合、人数が不明な場合は「-」で表示します。				※Educatarが定性的な評価を行っているため												
ターゲットのカテゴリ	教育ターゲット	人数	未成年を含む	ターゲットに関する評量	教育ターゲットにおける成果・ニーズ ＜取組分析＞	教育ターゲットに対する年度目標	計画的に実施された取組事項	教育アクティビティの提供 ＜ブルダウ方式＞	教育実施者 ※対面教育（オンライン含む）の場合、承認Educatorが実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティビティ部	実施モニタリング項目	評価軸と方法		希望するJADAとの連携 ＜ブルダウ方式＞	メモ NOTE  ※アクティビティ計画のねらいなど記載	
												クリーンアスリートガイド ＜ブルダウ方式＞	クリーンアスリートガイド以外のもの			定量	定性			
E 国際競技連盟（FIS）主催の競技大会への派遣アスリート	2023 世界選手権	1	世界選手権	大会開催：2023年11月25日～11月29日（5日間）	・2024年7月大会の出場権を獲得できること		✓	A-1	初年度ワークショップ（オンライン）	山田 博	2023年8月1日より	高杉ナシタさんによるセミナー（動画）	国内レベルアスリート向け	ADEL国際選手カードFactSheet	・清潔なエアリートとサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加する	・参加人数 ・学習者アンケートの回答率 ・教育実施者からのフィードバック	●参加人数	●教育関係者からのコメント ●参加者アンケートの結果		
					・選手理解促進と、海外遠征に出るアスリートが多いことから、アジアへ向かうための情報収集、行動ができるようになること			A-2	NPDのメンタリングリスト		2023年6月末	-	-	・清潔なエアリートとサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加し、JILLE準拠先のメールを発信する	・メンタリングと勉強会の開催			【取得内容】 JADAのアセスメントシート、JILLE申請書		
					・JADA大会出場のための事件が実行予定されている			A-3	NPDのメンタリングリスト		2023年9月末	-	-	・清潔なエアリートとサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加し、JILLE準拠先のメールを発信する	・メンタリングと勉強会の開催			【取得内容】 JADAのアセスメントシート、JILLE申請書 ・環境改善アクションプラン ・環境改善アクションプランの実行状況報告書		

「2023年度教育年間計画表」

# 各競技団体における、アスリートとサポートスタッフの分布

！ 各競技団体において、どのカテゴリーにどのような教育ターゲット（アスリート、サポートスタッフなど）が含まれるか整理が必要。競技団体によって、カテゴリーの名称が異なる場合もある。

## 教育対象 プール

\*2021Code/ISEの履行に向けた  
戦略計画を参照

**国際競技大会への派遣**  
(IF主催大会、年代別国際大会)

**シニア強化指定**

国内最高レベルの競技大会

**年代別強化指定**

**育成対象**

例

ユース  
ジュニア

年代別  
育成合宿

選抜  
合宿

！ 中央競技団体として、  
アスリート個人を把握できる・  
登録されている場合、  
「**育成対象**」とする

普及



## 2023年度 教育年間計画での記載

## ステップ1-1：教育ターゲットの入力



## ステップ1-2：教育ターゲット詳細の入力

ターゲットの カテゴリー	教育ター ゲット	人数	未成 年を 含む	ターゲッ トに 関する 詳細	教育ターゲット における課題、 ニーズ と現状分析	教育ターゲットに 対する年度目標	評価から提示 された教育 事件
国際競技連盟(IF) 主催国際競技大会 および 参加サポート スタッフ ※年代別含む	2023 世界選手権 派遣アスリート とサポートス タッフ	15	0	大会開催： 2023年11月 XX日～11月 YY日 (ロンドン/イギリ ス)	<p>●2024年大会の出場権 争奪戦である大会</p> <p>●選手権前まで、海外 遠征に出るアスリートが多 いため、アスリート自身の 適切な準備、行動がと れる必要がある</p> <p>●競技大会出場のための 費用が計画的に確保されてい る</p> <p>●JADA-RTPが含まれ るため、所属が適切に開 くも確認が必要</p>	<p>●11のトピックについて、ルール を基に自らアスリートが行動 がとれる</p> <p>●自身がアスリートとして行動を するために、適切にサポートス タッフからのアドバイスを受けること ができる</p> <p>●ロールモデルとしてスポーツ道 徳の体現、模範ができる</p>	<p>✓</p>

「2023年度教育年間計画表」

- 「【ステップ1-2】ターゲットに関する詳細」には、その教育ターゲットに登録される要件・条件などを入力
- 2023年度の「国内最高レベルの競技大会」は、2023年2月頃にJADAコーポレートサイトで公開予定。教育年間計画提出時は、**2022年度の「国内最高レベルの競技大会」**を想定として計画を策定

## 2

各ターゲットに対する**年度目標**を設定する

## 教育年間計画策定のステップ

- 
1. **教育ターゲット**を設定する
2. 各ターゲットに対する**年度目標**を設定する
3. **教育アクティビティ**を計画する
4. 各ターゲットの**アクティビティ目標**を設定する
- 承認Educatorが担う
5. 各教育アクティビティで扱う**トピックス**を設定する
6. 各教育アクティビティの**学習目標**を設定する
7. **モニタリングと評価**を設定する
8. 計画を**共有**する  
(団体内、JADA)

# 2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟
種目名	YYY
計画承認者	(印欄) XXX

教育プログラム全体の目的	強化プランに集約したスポーツを通して社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する。①は、特に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインパクトを表現、体験できるように、アスリートとサポートスタッフへの教育が不可欠である。インテグリティ教育（その中のアンチ・ドーピング）も、強化のためのものでプログラムと密着づけ、アスリートとサポートスタッフが結果にスポーツで繋がり、また社会からのアスリートへ良い影響を与えることができるようプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2024年への出場権が争われた国際競技大会において、派遣前の教育を確実に実施する</li> <li>●今後、派遣前に教育を受けることが当たりとなって、アスリート、サポートスタッフ、競技団体内部関係者と共通認識を持つ</li> <li>●アンチ・ドーピングEducator制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認研修に参加させる</li> </ul>

ステップ2-1：教育ターゲットにおける課題・ニーズ＜現状分析＞

ステップ2-2：教育ターゲットに対する年度目標

ターゲットの カテゴリ	教育ター ゲット	人数	未成 年を含む	ターゲッ トに 関する 課題	教育ターゲット における課題・ ニーズ ＜現状分析＞	教育ターゲットに 対する年度目標	から留意 事項	教育 アクティビ ティの 種類 ＜プログラム＞	教育実施者 ※対面教育（オンライン 含む）の場合、承認 Educatorが実施	アクティ ビティ の タイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティ ビティ目標	実施モニタ リング 項目	評価方法		希望するJADA との連携 ＜プログラム＞	メモ NOTE ※アクティビティ計画 のねらいと記載
												クリーンアスリート ガイド ＜プログラム＞	クリーンアス リートガイド ＜プログラム＞			定量	定性		
国際競技連盟（IF） 主催国際競技大会 への派遣アスリート および サポート スタッフ ※年代別含む	2023 世界選手権 派遣アスリート とサポート スタッフ	15	0	大会開催： 2023年11月 XXX国・YYY （オンライン） ・競技大会出場のため の海外渡航が予定されている	・2024年大会の出場権 を確保できる大会 ・11月開催のため、海外 渡航は派遣アスリートが 多いため、アスリート指導 と連携が密、行動が ある必要がある ・競技大会出場のため の海外渡航が予定されている	A-1 派遣前ワークショップ（オンライン）	山田 伸	2023年8月1日 まで	高が谷シゲ ル・トレーニング センター （東京）	国内・海外アスリート 施設	ADL1標準プログラム Rashad	派遣するアスリートとサポート スタッフ100%が派遣前ワー クショップに参加する	派遣するアスリートとサポート スタッフ100%が派遣前ワー クショップに参加する	・参加人数 ・学習率（24時間の 教育実施者からの フィードバック）	・参加人数 ・学習率（24時間の 教育実施者からの フィードバック）	・参加人数 ・学習率（24時間の 教育実施者からの フィードバック）	・参加人数 ・学習率（24時間の 教育実施者からの フィードバック）	希望するJADA との連携 ＜プログラム＞	メモ NOTE ※アクティビティ計画 のねらいと記載
国内競技連盟（NF） 主催国内競技大会 への派遣アスリート および サポート スタッフ ※年代別含む	2023 国内選手権 派遣アスリート とサポート スタッフ	15	0	大会開催： 2023年11月 XXX国・YYY （オンライン） ・競技大会出場のため の海外渡航が予定されている	・2024年大会の出場権 を確保できる大会 ・11月開催のため、海外 渡航は派遣アスリートが 多いため、アスリート指導 と連携が密、行動が ある必要がある ・競技大会出場のため の海外渡航が予定されている	A-2 国内のトレーニング	山田 伸	2023年8月1日 まで	高が谷シゲ ル・トレーニング センター （東京）	国内・海外アスリート 施設	ADL1標準プログラム Rashad	派遣するアスリートとサポート スタッフ100%が派遣前ワー クショップに参加する	派遣するアスリートとサポート スタッフ100%が派遣前ワー クショップに参加する	・参加人数 ・学習率（24時間の 教育実施者からの フィードバック）	・参加人数 ・学習率（24時間の 教育実施者からの フィードバック）	・参加人数 ・学習率（24時間の 教育実施者からの フィードバック）	・参加人数 ・学習率（24時間の 教育実施者からの フィードバック）	希望するJADA との連携 ＜プログラム＞	メモ NOTE ※アクティビティ計画 のねらいと記載

2 各ターゲットの  
年度目標  
を設定する

「2023年度教育年間計画表」

## 各ターゲットの「年度目標」とは？

各教育ターゲットの  
学習の**課題、  
ニーズの特定**

- それぞれの教育ターゲットの  
現状分析
- 出来ていること
  - 課題
  - ISEで求められていること
  - 現場で求められていること

各教育ターゲットの  
**年度目標  
の設定**

現状分析をもとに、  
それぞれの教育ターゲットに  
おいて、当該年度で獲得さ  
せたい/深めたい知識や、行  
動、スキル、価値観について  
目標を設定する

各教育ターゲットでの  
**アクティビティ目標  
の設定**

※1つ1つのアクティビティに設定  
される学習目標とは異なる

特定の期間のなかで、各  
ターゲットの年度目標を達  
成するために、アクティビティ  
毎に設定する目標。  
アクティビティの完了、成功を  
判断するための指標

## 各ターゲットの学習の課題とニーズ

課題とニーズを特定するためのプロセスには、アスリート、コーチ、保護者、チームメディカルなど**競技団体内の関係者の参加が必須**

### 【課題、ニーズの特定のための問い】 ※参考

- 各教育ターゲットは、現在何を知っていますか？何ができますか？
- 各教育ターゲットは、何を知っておく必要がありますか？何ができるべきでしょうか？
- 現在どのような教育を受けていて、その効果はどうですか？何か変更が必要なものはありますか？
- 各教育ターゲットの中で、教育のレベルは異なりますか？（複数名は十分な教育を受けているが、他の人は教育を受けた経験が浅い可能性がある）
- アスリート、サポートスタッフは学習や行動変容に意欲的ですか？そうでない場合、どのようにしたら彼らに刺激を与え、やる気を引き出すことができますか？

## 各教育ターゲット課題とニーズ→年度目標

各教育ターゲットの課題とニーズ（現状分析）をもとに、  
それぞれの教育ターゲットにおいて当該年度で達成したい目標を設定

### 【例】 U-18 国際XXXX大会派遣アスリートとサポートスタッフ

#### ＜現状分析＞

- ・初めて国際競技大会に派遣されるアスリートが多い
- ・アンチ・ドーピングの基礎的な知識は持っているが、自身でクリーンスポーツ行動を行うという深さには達していない
- ・競技大会出場のための要件がIFから指定されている



#### ＜年度目標＞

- 11のトピックスについて、ルールや手続きを再確認する
- ルールや、アスリートの責務＆権利に基づき、クリーンスポーツ行動の実践スキルを獲得する（特に、薬の事前確認とドーピング検査）
- 自身の考えるスポーツの価値を、チームメイトやサポートスタッフに伝えることができる

## 各教育ターゲットの年度目標の考え方 <例>



各競技団体でマイルストーンとなる大会を起点に、その大会に参加するアスリートの目指す姿を設定（例：2024パリ）

⇒「マイルストーン大会への出場権が与えられる大会」に参加するアスリートの目標を、逆算して設定することも可能  
（世界選手権、日本選手権）



PARIS 2024

2024年夏 パリ大会

- クリーンスポーツ行動の実践スキルを持ったうえで、自らの行動を振り返り、改善できる

出場権獲得！

逆算

2024パリでこのような姿を目指す場合、世界選手権ではどこまでできていたら良いか？

2023年冬 世界選手権

- クリーンスポーツ行動の実践スキル獲得

出場権獲得！

逆算

世界選手権での姿を目指す、日本選手権では、どこまでできていたら良いか？

2023年夏 日本選手権

- 11トピックについて、ルールと手続きの正しい情報を再確認

## 2023年度 教育年間計画での記載

ステップ2-1：教育ターゲットにおける  
課題・ニーズ＜現状分析＞



ステップ2-2：教育ターゲットに対する  
年度目標

ターゲットの カテゴリー	教育ター ゲット	人数	未成 年を 含む	ターゲッ トに 関する 詳細	教育ターゲット における課題・ ニーズ ＜現状分析＞	教育ターゲットに 対する年度目標	計画的に 実施された教育 の事例
国際競技連盟(IF)主催国際競技大会への派遣アスリートおよび参加サポートスタッフ 五年代別含む	2023 世界選手権派遣アスリートとサポートスタッフ	15	0	大会開催：2023年11月XX日～11月YY日 (ロンドン/イギリス)	・2024年1月の大会の出場権を獲得できる大会 ・選手権直前まで、海外遠征に出るアスリートが多いため、アスリート自身の適切な判断、行動ができる必要がある ・競技大会出場のための条件が厳格に設定されている ・JADA、ITPが食われるため、適切な食事に配慮が必要	●11のトピックについて、ルールを基に自らゲームプランニング行動ができる ●自身がゲームプランニング行動をするために、適切にサポートスタッフからのアドバイスを受けることができる ●ローモーションとしてスポーツ価値の理解、発信ができる	✓

「2023年度教育年間計画表」

- 各競技団体でのマイルストーンとなる競技大会または、その競技大会への出場権を獲得する大会の情報も、「【ステップ2-1】教育ターゲットにおける課題・ニーズ」に記入
- 「【ステップ2-2】教育ターゲットに対する年度目標」は、P11-12の「2021Code/教育の国際基準に基づく教育の目的」「育てたい資質・能力/コンピテンシー」も参照



# 3

## 教育アクティビティを計画する

### 教育年間計画策定のステップ

1. 教育ターゲットを設定する
2. 各ターゲットに対する年度目標を設定する
3. 教育アクティビティを計画する
4. 各ターゲットのアクティビティ目標を設定する
5. 各教育アクティビティで扱うトピックスを設定する
6. 各教育アクティビティの学習目標を設定する
7. モニタリングと評価を設定する
8. 計画を共有する  
(団体内、JADA)

承認Educatorが担う

# 2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

ステップ3-1：IFからの教育要件

ステップ3-2：教育アクティビティの種類

ステップ3-3：教育実施者

ステップ3-4：アクティビティのタイムライン&実施場所

ステップ3-5：使用する教材・資料

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 【記入例】

競技団体名	公営財団法人日本XX連盟
種目名	YYY
計画承認者	(印) XXX
教育プログラム全体の目的	強化プランに掲げるスポーツを通して社会にポジティブな影響を与えるアスリート、サポートスタッフを育成する。①は、主に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを表現、体験できる。アスリートとサポートスタッフへの教育が不可欠。インテグリティ教育（その中のアンチ・ドーピング）を、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートとサポートスタッフが継続的にスポーツで学び、来世世代のアスリートへ良い影響を与えることができるようプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の選定目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2024年への出場権がかった国際競技大会について、派遣の前の教育を確実に実施する</li> <li>● 今後、派遣の前に教育を受けることが当たり前となる。アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ</li> <li>● アンチ・ドーピング教育の導入により、Educator候補者1名を選出し、承認研修に参加させる</li> </ul>

ターゲットのカテゴリー	教育ターゲット	人数	未成年を含む	ターゲットに関する事項	教育ターゲットにおける課題、ニーズ<優先分野>	教育ターゲットに対する年度目標	教育実施者 ※対面教育（オンライン含む）の場合、承認Educatorが実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティビティ目標	実施モニタリング項目	評価方法		希望するJADAとの連携<ブルダウンス>	メモ ※アクティビティ計画のねらいなど記載
										クリーンアスリートガイド<ブルダウンス>	クリーンアスリートガイド以外のもの			定量	定性		
C 国際競技連盟（IF）主催国際競技大会および派遣アスリートとサポートスタッフ ※年代別含む	2023 世界選手権派遣アスリートとサポートスタッフ	15	0	大会開催：2023年11月XX日～11月YY日（ロンドン/イギリス）	選手権連盟と、海外連盟に出るアスリートが主。アスリートとサポートスタッフの両方である可能性がある。競技力向上の目的がある。競技力向上の目的がある。競技力向上の目的がある。	● 11月の大会について、選手権連盟と、海外連盟に出るアスリートが主。アスリートとサポートスタッフの両方である可能性がある。競技力向上の目的がある。競技力向上の目的がある。競技力向上の目的がある。	山田	2023年8月1日	高野市ナショナルトレーニングセンター（東京）	国際ヘルムアスリートガイド	ADEL研修スライド・Faceshot	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が対面形式でセッションに参加する	● 参加人数 ・学習者フィードバック ・教育実施者からのフィードバック	● 参加人数 ● 教育実施者からのフィードバック ● 学習者フィードバック			
3 教育アクティビティを計画する												派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が「JADAのクリーンアスリート」サポーターとして派遣される（派遣先）のメールを参照する	メーリングリスト登録者のフィードバック				【関係内】 × JADA-KITAのフィードバックを参照する ・教育実施者からのフィードバック

「2023年度教育年間計画表」

## 「教育」の4要素

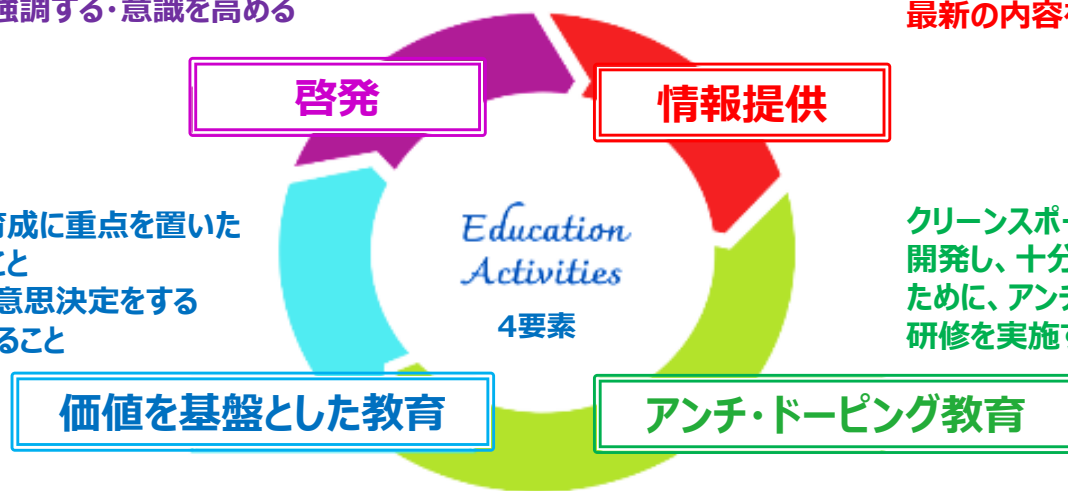
- ✓ 教育は4要素で構成される
- ✓ 教育ターゲットに対し適切な教育目標を立て、各アクティビティの設計をする

クリーンスポーツに関する  
トピックス・課題を強調する・意識を高める  
こと

クリーンスポーツに関する正確で  
最新の情報を提供すること

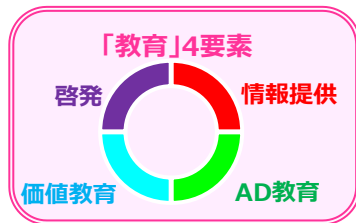
個人の価値観と信条の育成に重点を置いた  
アクティビティを実施すること  
倫理的に行動するための意思決定をする  
能力（スキル）を開発すること

クリーンスポーツ行動における能力（スキル）を  
開発し、十分な情報に基づく意思決定を下す  
ために、アンチ・ドーピング・トピックスに関する  
研修を実施すること



\* ISE定義語 \*

# 教育ターゲットと教育ステップ 「パスウェイに即した教育」



国際総合競技大会派遣への推薦者名簿提出

**国際競技大会への派遣**  
(IF主催大会、年代別国際大会)

**シニア強化指定**

国内最高レベルの競技大会

**年代別強化指定**

**育成対象**

例

ユース  
ジュニア

年代別  
育成合宿

選抜合宿

普及

価値教育の重要層

● スポーツの価値を創る働きかけ

● 知識を活用した、  
クリーンスポーツ行動の実践

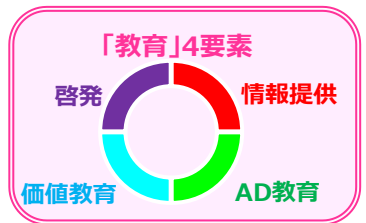
● クリーンスポーツ行動に必要な基  
礎知識の習得

● スポーツの価値の醸成  
● クリーンスポーツを守ることの自分  
事化

● スポーツの価値、クリーン  
スポーツの重要性への関心



# 教育ターゲットと教育ステップ 「パスウェイに即した教育」



国際総合競技大会派遣への推薦者名簿提出

## 国際競技大会への派遣

(IF主催大会、年代別国際大会)

## シニア強化指定

国内最高レベルの競技大会

## 年代別強化指定

## 育成対象

例

ユース  
ジュニア

年代別  
育成合宿

選抜合宿

普及

！ 教育アクティビティを組み合わせ、1年をかけて各教育ターゲットの年度目標を達成できるようにする

年度  
目標

知識を活用した、  
クリーンスポーツ行動の実践



アクティビティ    アクティビティ    アクティビティ

A + B + C

= 知識を活用した、  
クリーンスポーツ行動の実践



## 各教育ターゲットの年度目標の考え方 &lt;例&gt;



それぞれの教育ターゲットで達成させたい姿の差分（ギャップ）を、教育アクティビティを実施することで埋めていく



2024年夏 パリ大会

- クリーンスポーツ行動の実践スキルを持ったうえで、自らの行動を振り返り、改善できる

アクティビティ アクティビティ

C + D

出場権獲得！

2023年冬 世界選手権

- クリーンスポーツ行動の実践スキル獲得

アクティビティ アクティビティ

A + B

出場権獲得！

2023年夏 日本選手権

- 11トピックについて、ルールと手続きの正しい情報を再確認

## 教育アクティビティ間の連動



教育アクティビティは単体ではなく、教育ターゲットに応じ、機会を最大限に活用しつつ、組み合わせて実施していくことが効果的

## 対面教育



- スポーツの価値ワークショップ
  - クリーンスポーツの行動化のためのワークショップ
- ※対面式とオンライン方式の両方を含む

## デジタルラーニング

- Eラーニング  
- WADA ADEL
- ウェビナー（11トピックス）
- リアルチャンピオンクイズ



- アウトリーチブース
- ポスター掲示
- SNS発信
- キャンペーン

## 啓発

## 情報提供






- クリーンスポーツアスリートサイト
- IFのアンチ・ドーピング関連ページ
- メーリングリスト



### 3 教育アクティビティ を計画する

# 教育ターゲットと教育アクティビティ（JADA推奨）

## 2023年度、NFによる教育年間計画・実施における重点ポイント

	対面教育	E-ラーニング	ウェビナー/WEBクイズ	情報提供	普及
教育ターゲット アスリート・サポートスタッフも含む					
IF主催国際競技大会 へ派遣・参加 ★IF規程に準ずる	<b>推奨</b> ワークショップ (対面式/オンライン方式) <ケーススタディの活用/課 題ベース>	<b>強く推奨</b> ADEL 国際レベル アスリート向け	<b>強く推奨</b> 11トピックス	<b>強く推奨</b> アスリートサイトリンクバナー IFサイトへリンク	SNSクリーンスポー ツキャンペーン 動画投稿
強化対象		<b>強く推奨</b> ADEL 国内レベル アスリート向け	<b>強く推奨</b> 11トピックス	<b>強く推奨</b> アスリートサイトリンクバナー	SNSクリーンスポー ツキャンペーン 動画投稿
国内最高レベルの 競技会への参加	<b>強く推奨</b> ワークショップ (対面式/オンライン方式) <スポーツの価値>	<b>推奨</b> ADEL 国内レベル アスリート向け	<b>強く推奨</b> 11トピックス リアルチャンピオンクイズ	<b>強く推奨</b> アスリートサイトリンクバナー	<b>推奨</b> ・iPLAY TRUE投稿 ・SNSでの発信 ・プログラム版 ・リーフレット配布 掲示
育成対象		<b>推奨</b> リアルチャンピオンクイズ ★保護者★ 保護者向けウェビナー	<b>強く推奨</b> アスリートサイトリンクバナー	<b>推奨</b> ・スポーツ価値動画 ・SNSでの発信 ・プログラム版 ・リーフレット配布	・アウトリーチ ・SNSでの発信 ・リーフレット配布
その他のアスリート ～一般				<b>強く推奨</b> アスリートサイトリンクバナー	・SNSクリーンスポー ツキャンペーン ・広報誌



## 2023年度 教育年間計画での記載

## ステップ3-1： IFからの教育要件



IFから指定された教育要件に当てはまる場合は、  
「✓」を選択

※「国際競技連盟（IF）主催国際競技大会への派遣アスリート  
およびサポートスタッフ」の категорияのみで選択

ターゲット 課題、 ス 分析	教育ターゲットに 対する年度目標	IFから提 示された教 育要件	教育 アクティビ ティの種 類	教育実施者 ※対面教育(オンライン 含む)の場合、承認 Educatorが実施	アクティ ビティ のタイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料 クリーン アスリート ガイド	クリーンア スリートガ イド以外 のもの	教育
大会の出 場できる大 規模な選手 権にアスリ トがなる予 定に含まれ ていない 場合、例え ば出場のため に指定さ れる	● 11のトピックについて、原則を基に自らクリーンスポーツ行動がとれる ● 自身がクリーンスポーツを推進するために、適切にサポートスタッフからのアドバイスを求めることができる ● ロールモデルとしてスポーツの価値の体現、発信ができる	✓	A-1 対面式ワークショップ（オンライン）	□□ □□	2023年8月1 日まで	西が丘ナショナルトレーニング センター（東京）	国内レベルア スリート向け		派遣ア スリート スタッフ の派遣先 に「クリーン アスリート ガイド」を 配布する
			A-2 NF内のメーリングリスト	-	2023年6月末	-	-		派遣ア スリート スタッフ の派遣先 に「クリーン アスリート ガイド」を 配布する
			A-3 NF内のメーリングリスト	-	2023年9月末	-	-		派遣ア スリート スタッフ の派遣先 に「クリーン アスリート ガイド」を 配布する

3-1

「2023年度教育年間計画表」

- 世界選手権（シニアだけでなく年代別含む）等の国際競技大会への参加要件 (eligibility) として、クリーンスポーツ教育を義務化しているIFが増加

例：11トピックスがカバーされたEラーニング  
承認Educatorによる対面式ワークショップ

！ IFからJADAに当該者の承認状況や内容について照会あり

## 2023年度 教育年間計画での記載

## ステップ3-2：教育アクティビティの種類



P31「教育ターゲットと教育アクティビティ  
(JADA推奨)」を参考に、プルダウンから、  
当てはまるアクティビティの種類を選択

ゲット 課題、 ス 分析	教育ターゲットに 対する年度目標	IFから提 示された教 育要件	教育 アクティビティ の種類	教育実施者 ※対面教育(オンライン 含)の場合、承認 Educatorが実施	アクティビ ティのタイ ムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育 年 間 計 画 の 注 意 点
							クリーン アスリ ートガ イド	クリーン アスリ ートガ イド以外 のもの	
大会の出 場できる大 選手権に なると定 義に含ま れ、かつ 出場のため 指定さ れる	●11のビッグについて、ルールを基に自らグリーンズ昇格行動がとれる ●自身がグリーンズ昇格行動をするために、適切にリポートスタッフからのアドバイスを受けることができる ●ロールモデルとして選手権優勝の体験、発信ができる	✓	A-1 対面式ワークショップ (オンライン)	□□ □□	2023年8月1日まで	西が丘ナショナルトレーニングセンター (東京)	国内レベルアスリート向け		・最近の大会で活躍している選手
			A-2 NFP内のメーリングリスト	-	2023年6月末	-	-		・最近の大会で活躍している選手
			A-3	-	2023年9月末	-	-		・最近の大会で活躍している選手

「2023年度教育年間計画表」

- 教育アクティビティは効果的に組み合わせることが重要  
※各アクティビティの選択、連動性については、P37-43を参考に検討ください
- P31に記載された教育アクティビティ、およびそれ以外の教育アクティビティもプルダウンから選択可能
- プルダウンに当てはまるアクティビティが無い場合は、「その他」を選択 ※プルダウンの一番下に「その他」の選択肢あり  
⇒「その他」を選んだ場合は、教育年間計画の右端『メモ NOTE』にアクティビティの内容を具体的に記載ください

## 2023年度 教育年間計画での記載

## ステップ3-3：教育実施者



【ステップ3-2】で対面教育（対面式ワークショップ）  
を選択した場合、教育実施者の欄に承認Educator  
候補者の氏名の入力必須

教育ターゲットに対する年度目標	IFから提示された教育要件	教育アクティビティの種類	教育実施者 ※対面教育(オンライン含)の場合、承認Educatorが実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育
						クリーンアスリートガイド	クリーンアスリートガイド以外のもの	
大会の出場できる人 が選手権にアスリートとなる予定 に占められ、競技会を別 出場のため指定される	✓	A-1 対面式ワークショップ（オンライン）	□□ □□	2023年8月1日まで	西が丘ナショナルトレーニングセンター（東京）	国内レベルアスリート向け		対面式ワークショップを実施する
		A-2 NF内のメーキングリスト	-	2023年6月末	-	-		対面式ワークショップ「JADA」を実施する
		A-3 NF内のメーキングリスト	-	2023年9月末	-	-		対面式ワークショップ「JADA」を実施する

「2023年度教育年間計画表」

- 対面教育の実施者が教育年間計画（Excel）のシート『1.2023年度体制』の「承認Educator候補者」一覧に記載されているか必ず確認
- 2023年度クリーンスポーツEducator承認研修の開催前\*までは、元教育活動者でも対面教育の実施が可能
- 承認Educator候補者が選出できない、競技団体での事情がある場合は、JADAへ個別にご相談ください
- JADA-Educatorの派遣を希望する場合は、「希望するJADAとの連携」の列でその旨選択 ※派遣には要件あり

\*2023年度クリーンスポーツEducator承認研修：2023年6月- 7月開催予定

## 2023年度 教育年間計画での記載

ステップ3-4 : アクティビティのタイムライン  
& 実施場所

「アクティビティのタイムライン」と、「実施場所」  
を、教育年間計画の提出時に  
記載できる範囲で入力

教育ターゲット に対する年度目標	IFから提 示された教 育案件	教育 アクティビティ の種類	教育実施者 ※対面教育(オンライン 含)の場合、承認 Educatorが実施	アクティビ ティのタイム ライン	実施場所	使用する教材・資料		教育 年 間 計 画 の 記 載 範 囲
						クリーン アスリート ガイド	クリーンア スリートガ イド以外の もの	
大会の出 場できる大 手選手権に アスリートが なる予定 に含まれ ついでに、 機会を別 出場のため から指定さ れる	✓	A-1 対面式ワークショップ (オンライン)	□□ □□	2023年8月1 日まで	西が丘ナショ ナルトレーニング センター (東京)	国内レベルア スリート向け		・大会 スケジュール ・大会 スケジュール ・大会 スケジュール
		A-2 NF内のメーリングリスト	-	2023年6月末	-	-		・大会 スケジュール ・大会 スケジュール ・大会 スケジュール
		A-3 NF内のメーリングリスト	-	2023年6月末	-	-		・大会 スケジュール ・大会 スケジュール ・大会 スケジュール

「2023年度教育年間計画表」

- 「アクティビティのタイムライン」は、アクティビティ間の連動性を持たせるために検討が必要  
⇒具体的な日程が決定していなかった場合でも、「8月頃」「第3四半期」「シーズンの前」といった粒度で入力
- 各アクティビティの選択、連動性については、P37-43を参照

## 2023年度 教育年間計画での記載

## ステップ3-5：使用する教材・資料



- ✓ 【ステップ3-2】で対面教育を選択した場合のみ、  
クリーンアスリートガイドの活用が可能  
(「国内レベルアスリート向け」「ユースアスリート向け」を選択)

教育ターゲット に対する年度目標	IFから提 示された教 育要件	教育 アクティビ ティの種 類	教育実施者 ※対面教育(オンライン 含む)の場合、承認 Educatorが実施	アクティビ ティのタイムラ イン	実施場所	使用する教材・資料		教育 推進の ための マテリア ル申請
						クリーン アスリ ートガ イド	クリーン アスリ ートガ イド以 外の もの	
大会の出 場できる大 規模な大会 に選手が 参加する 予定	✓	A-1 対面式ワークショップ (オンライン)	□□ □□	2023年8月1 日まで	西が丘ナショ ナルトレーニング センター (東京)	国内レベルア スリート向け		申請可能
自身が行 う活動に 関するこ とについて は、機会を 別ける 必要がある		A-2 NF内のメーリングリスト	-	2023年6月末	-	-		申請可能
出場のため に指定さ れる		A-3 NF内のメーリングリスト	-	2023年9月末	-			申請可能

「2023年度教育年間計画表」

- 「クリーンアスリートガイド」の申請はこちらに記載された情報（教育対象や部数など）を基にJADAで確認し、  
提供の可否を判断
- 「クリーンアスリートガイド」以外の教材・資料を使用する場合は、「クリーンアスリートガイド以外のもの」に教育年間計画提出時に  
想定される範囲を記入（ADELからダウンロードできる資料など）
- P61以降の「教材・ツール一覧」を参考に記入  
※p62の「教育推進のためのマテリアル申請ページ」が公開された後は、当該WEBページで確認可能

# 育成対象のアスリートとそのサポートスタッフ

3

教育アクティビティ  
を計画する



◆中央競技団体として、アスリート個人を把握できる場合、「育成対象」とする

【例】 ユース/ジュニア、年代別育成合宿に参加するアスリート

## < 計画策定時のポイント >

- ✓ 「検査の前の教育」を担保する
- ✓ スポーツの価値教育により焦点を当てる必要あり
- ✓ アスリート本人だけでなく、指導者・保護者を含めた環境整備が必要

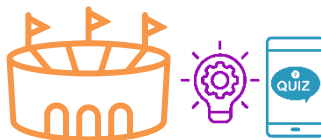
### 「教育」4要素



2023年度、JADAから  
の講師派遣の重点  
サポート対象



承認Educatorによる  
対面式ワークショップ  
＜スポーツの価値＞



- ・アウトリーチブース
- ・スポーツの価値動画の放映
- ・ポスター/横断幕の掲示
- ・プログラム版掲載
- ・WEBクイズ



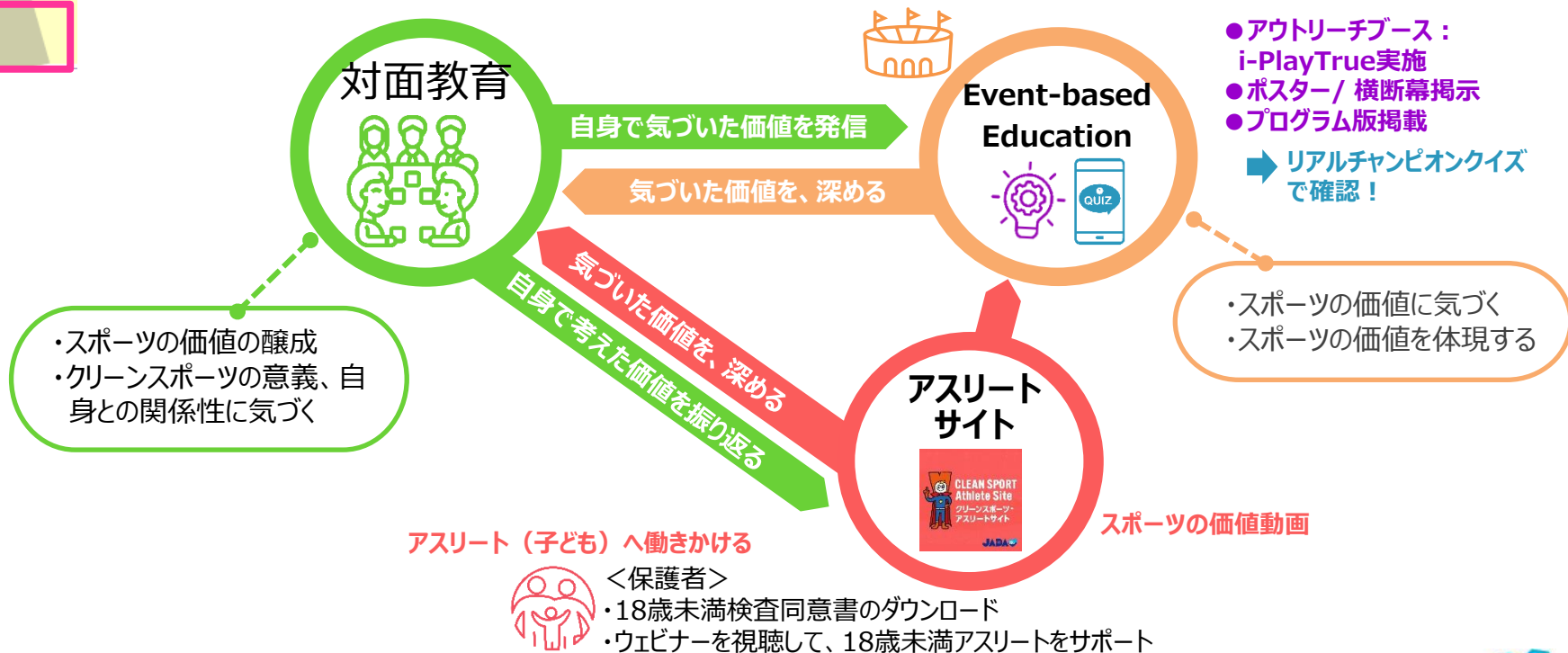
- ★保護者に対して★
- ・18歳未満検査同意書
- ・保護者向けウェビナー

# 育成対象のアスリートとそのサポートスタッフ

3

教育アクティビティ  
を計画する

＜💡 計画策定時のポイント＞を踏まえた、学習プロセスの例



# 国内最高レベルの競技大会へ参加する アスリートとそのサポートスタッフ

3

教育アクティビティ  
を計画する



JADAのサイトに公開されている各競技の「国内最高レベルの競技大会」へ参加するアスリート

国内最高レベルの競技会 ≠ ドーピング検査実施大会

## < 計画策定時のポイント >

- ✓ 「検査の前の教育」の観点で、**クリーンスポーツの意義への喚起**、**アンチ・ドーピング教育**、**情報提供**のグッドチャンス！
- ✓ 競技によっては、対象のアスリート・サポートスタッフの数が大きい場合、デジタルコンテンツを組み合わせ、「知らなかった」アスリートをつくらない



Event-based  
Education



大会情報や、エントリーページに  
アスリートサイトのバナー設置

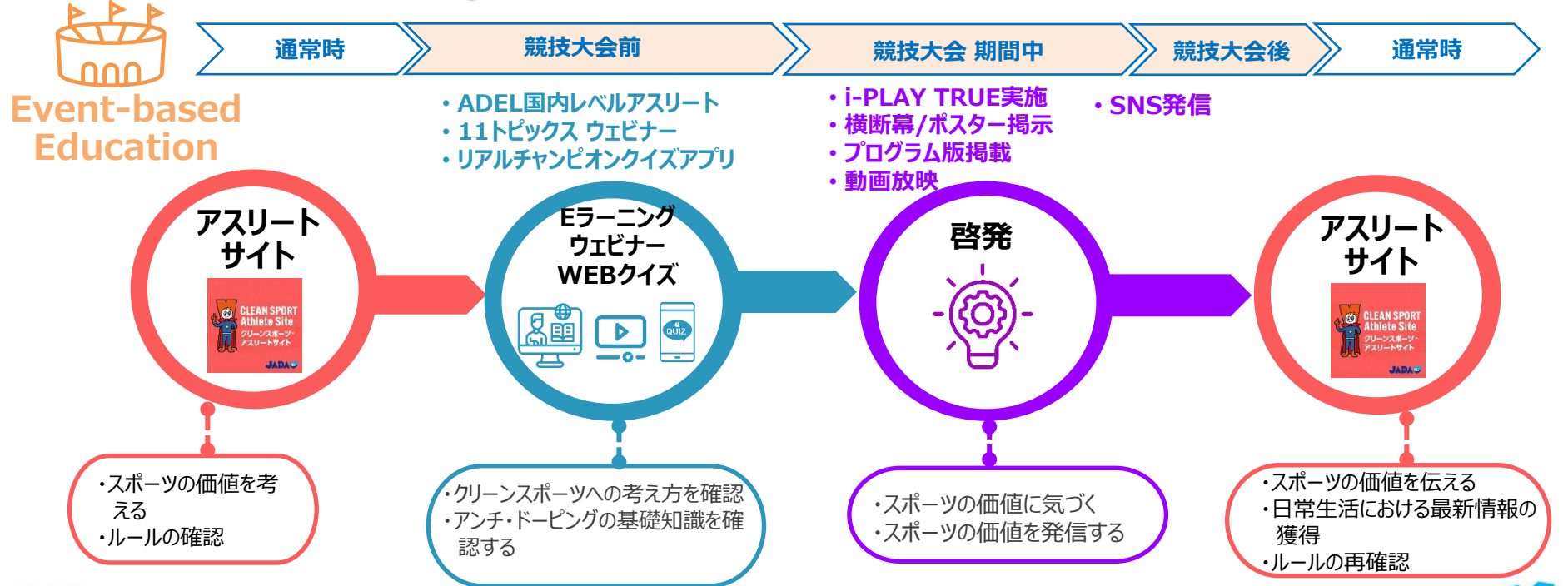


競技大会へ参加するアスリートが自ら  
学べる、Eラーニング、ウェビナー



★18歳未満のアスリートも参加  
できる大会の場合、  
18歳未満検査同意書





# 強化対象のアスリートとそのサポートスタッフ

3

教育アクティビティ  
を計画する

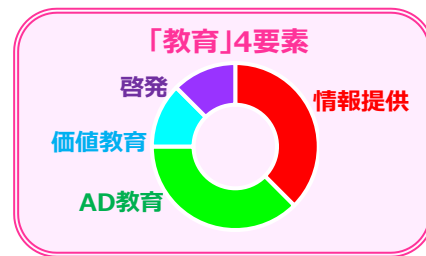


◆各団体で、指定のカテゴリー/レベル設定等は異なる

【例】強化指定A、シニア日本代表

## ＜💡 計画策定時のポイント＞

- ✓ ルールを知っているだけでなく、「知っている」が本当に行動につながるか？を問うことを通して、**クリーンスポーツ行動の実践スキル**を習得する必要あり
- ✓ 毎回の気づき、楽しさ、自身の誇りを醸成する
- ✓ 最新情報へのアクセスが可能となる情報提供のルート確保



NF内の強化スタッフ、  
アスリート所属チームと  
の連携が必要



承認Educatorによる  
対面式ワークショップ  
＜クリーンスポーツ行動＞



行動化するために  
ルールを再確認する  
Eラーニング



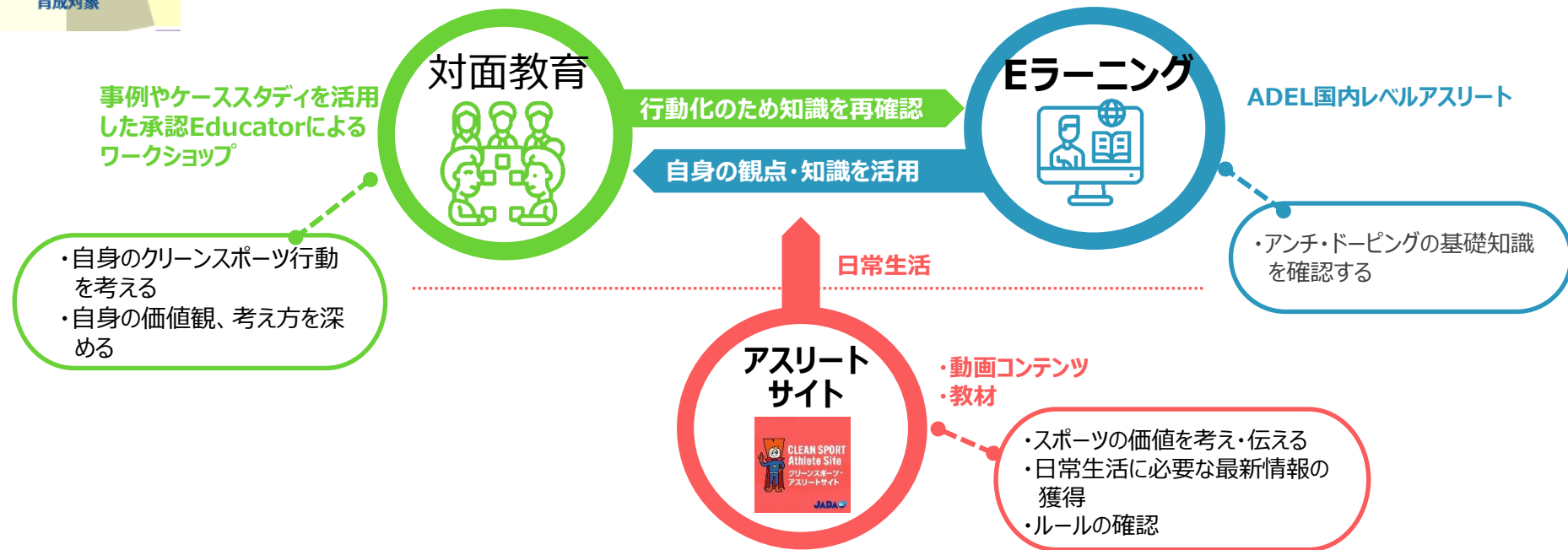
日常的に最新情報を確認できるよ  
う、アスリートサイトのリンクバナーを  
設置

# 強化対象のアスリートとそのサポートスタッフ

3

教育アクティビティ  
を計画する

＜💡 計画策定時のポイント＞を踏まえた、学習プロセスの例



# IF主催国際競技大会への派遣アスリート とそのサポートスタッフ



【例】 世界選手権、ワールド○○シリーズ、U-▲世界選手権



## < 計画策定時のポイント >

- ✓ 世界選手権（シニアだけでなく年代別含む）等の国際競技大会への参加要件として、国際競技連盟（IF）/JADAが承認するクリーンスポーツ教育を義務化するIFが増加  
→必ず、IFから公開される/通達される参加要件の内容・項目を事前に確認し、  
教育年間計画に落とし込む必要あり
- ✓ 強化対象アスリートがIF主催国際競技大会へ派遣される場合：  
強化対象アスリートへの教育内容が、IFが定める要件を満たす場合もある  
→各競技団体からIFへの確認が必要

【要件として指定された  
アクティビティの例】



・E-ラーニング  
（ADELなど）



・NADO（日本の場合JADA）が承認した  
Educatorによる対面教育

## 4

各ターゲットの**アクティビティ目標**を設定する

## 教育年間計画策定のステップ

- 
- 承認Educatorが担う
1. **教育ターゲット**を設定する
  2. 各ターゲットに対する**年度目標**を設定する
  3. **教育アクティビティ**を計画する
  4. 各ターゲットの**アクティビティ目標**を設定する
  5. 各教育アクティビティで扱う**トピックス**を設定する
  6. 各教育アクティビティの**学習目標**を設定する
  7. **モニタリングと評価**を設定する
  8. 計画を**共有**する  
(団体内、JADA)

## 2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XX連盟		
種目名	YYY		
計画承認者	(役職)		XXX

<p><b>教育プログラム全体の目的</b></p>	<p>強化プログラムの高いレベルで学ぶことで、社会で活躍の能力を育むとともに、グローバルな視野を育み、グローバルなリーダーシップを身に付ける。また、グローバルなリーダーシップを身に付けることで、社会で活躍の能力を育むとともに、グローバルな視野を育み、グローバルなリーダーシップを身に付ける。</p>
<p><b>2023年度の教育目標としての教育の達成目標</b></p>	<p>● 2023年度の教育目標として、英語の能力を高めること、グローバルな視野を育み、グローバルなリーダーシップを身に付けること、グローバルなリーダーシップを身に付けること、グローバルな視野を育み、グローバルなリーダーシップを身に付けること。</p>

ターゲットのカテゴリ	教育ターゲット	人数	未成年者を含む	ターゲットに関する記事	教育ターゲットにおける課題・ニーズ＜現状分析＞	教育ターゲットに対する年度目標	計画的な取組 された取組 要旨	教育 アクティビティ の提供 ＜ブルダウンス＞	教育実施者 ※対面教育（オンライン）の場合、承認 Educatorが実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教科・資料		教育アクティビティ目標	実施モニタリング 項目	評価制/方法		希望するJADAとの連携 ＜ブルダウンス＞	メモ NOTE ※アクティビティと計画 のねらいなど記載
												クリーンアスリートガイド ＜ブルダウンス＞	クリーンアスリートガイド ＜ブルダウンス＞ 外のもの			定量	定性		
Ⅱ 国際関係推進（F） 主眼目標優先度（次） への貢献度アスリート および 参加リポート スタッフ  近年代別含む	2023 世界選手権 の派遣アスリート とサポートス タッフ	15	0	・2024年大会の出場目標を整理できる大会  大会開催：2023年11月XX日～11月Y日（ロンドンイギリス）  ・選手権前夜と、海外遠征に出るアスリートが多いため、アスリートと指導者の関係性、行動がわかる必要がある  ・競技大会出場のための準備が整った状態になっている  ・JADA、ITが活用されるため、関係性の構築、期待、課題が大きい	・11のトピックについて、メールを基に自分たちでレポートを作成できる  ・目標がゴールポストから行動するときに、適切なアスリートと指導者の関係性を築けることができる  ・ゴールポストから行動するときに、適切なアスリートと指導者の関係性を築けることができる	A-1 初年度ワークショップ（オンライン）  山田 博  2023年8月1日～	高野日ナシケル とチームでセ ンター（東京）	2023年8月1日～	高野日ナシケル とチームでセ ンター（東京）	国際ヘルムアスリートガイド  AEDL国際ヘルムアスリートガイド FactSheet	・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる	・参加人数 学習者フィードバック 教育実施者フィードバック （リポート）  ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる	・参加人数 学習者フィードバック 教育実施者フィードバック （リポート）  ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる	●参加者数 ●教育実施者からのフィードバック ●学習者フィードバック					
						A-2 研修中のモニタリングリスト		2023年9月～	-			・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる	・参加人数 学習者フィードバック 教育実施者フィードバック （リポート）  ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる	・参加人数 学習者フィードバック 教育実施者フィードバック （リポート）  ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる					
						A-3 研修中のモニタリングリスト		2023年9月～	-			・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる	・参加人数 学習者フィードバック 教育実施者フィードバック （リポート）  ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる	・参加人数 学習者フィードバック 教育実施者フィードバック （リポート）  ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる ・派遣アスリートと指導者の関係性を築けることができる					

**JADA**  
Japan Anti-Doping Agency

# 2023年度 教育年間計画での記載

## ステップ4-1：アクティビティ目標を設定する



教育アクティビティ目標設定の原則のもと  
アクティビティ目標を記入  
(教育アクティビティ目標設定の原則は、P48を参照)

- 年間を通して実施した教育アクティビティのすべての目標が達成されると、【ステップ2-2】で設定した、教育ターゲットごとの年度目標を達成できることになる

実施者 （法人・個人） 氏名	アクティビティ のタイム ライン	実施場 所	活用する 教材	教育アクティビ ティ目標	実施モニタ リング 項目	評価額/方法	
						定量	定性
〇〇 〇〇	2023年8月1日 まで	-	-	「派遣するアスリートサポートス タッフの100%が研修を修了する	・コース修了状況 (研修修了の割合)	●研修修了者人 数	-
-	2023年6月末	-	-	「派遣するアスリートサポートス タッフ全員に「JADAグリーンスポン サアスリートサイトのURL」「TITLE 申請先」のメールを発信する	・メールリスト登録 率のアクション		●アスリートの二 次発信の内容
-	2023年9月末	-	-	「派遣するアスリートサポートス タッフ全員に「JADAグリーンスポン サアスリートサイトのURL」「TITLE 申請先」のメールを発信する	・メールリスト登録 率のアクション		●アスリートの二 次発信の内容

4-1

「2023年度教育年間計画表」

＜ある教育ターゲットにおいて、アクティビティAとBを実施する場合＞

年度目標 = アクティビティAの目標 + アクティビティBの目標

達成

達成

達成

# 「教育アクティビティ目標」とは？

\*原則に基づき設定

各教育ターゲットの  
学習の**課題、  
ニーズの特定**

それぞれの教育ターゲットの  
現状分析

- 出来ていること
- 課題
- ISEで求められていること
- 現場で求められていること

各教育ターゲットの  
**年度目標  
の設定**

現状分析をもとに、  
それぞれの教育ターゲットに  
おいて、当該年度で獲得さ  
せたい/深めたい知識や、行  
動、スキル、価値観について  
目標を設定する

各教育ターゲットでの  
**教育アクティビティ目標  
の設定**

※1つ1つのアクティビティに設定  
される学習目標とは異なる

特定の期間のなかで、各  
ターゲットの年度目標を達  
成するために、各教育アク  
ティビティに設定する目標。  
アクティビティの完了、成功を  
判断するための指標



# 教育アクティビティ目標の設定

特定の期間のなかで、各教育ターゲットの年度目標を達成するために  
教育アクティビティの完了、成功を判断するための指標

## 【教育アクティビティ目標設定の原則】

**S** = Specific 具体的な  
**M** = Measurable 測定可能  
**A** = Achievable 達成可能  
**R** = Realistic 現実的  
**T** = Timely 適時性

### プログラム目標の例：

＜育成対象＞

- ・ トレーニングキャンプに参加するアスリートとサポートスタッフの100%がクリーンスポーツ研修会に参加する
- ・ 育成対象が出場する競技大会のうち、2大会でアウトリーチプログラムを実施する

＜国内最高レベルの競技大会へ参加するアスリート＆サポートスタッフ＞

- ・ 参加するアスリートの100%がADEL国内レベルアスリートのコースを修了する

## 7

## モニタリングと評価を設定する

## 教育年間計画策定のステップ

- 
- 承認Educatorが担う
1. 教育ターゲットを設定する
  2. 各ターゲットに対する年度目標を設定する
  3. 教育アクティビティを計画する
  4. 各ターゲットのアクティビティ目標を設定する
  5. 各教育アクティビティで扱うトピックスを設定する
  6. 各教育アクティビティの学習目標を設定する
  7. モニタリングと評価を設定する
  8. 計画を共有する  
(団体内、JADA)

# 2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 【記入例】

競技団体名	公益財団法人日本JADA連盟		
種目名	YYY		
計画承認者	(印欄)		XXX

教育プログラム全体の目的	強化プランに集約するスポーツを通して社会にポジティブな影響を与え、アスリート、サポートスタッフを育成するには、理に賛同力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを表現、体験できるような、アスリートとサポートスタッフへの教育が不可欠である。 インテグリティ教育（その中のアンチ・ドーピング）を、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートとサポートスタッフの健康にスポーツに関わり、また次世代のアスリートへ良い影響を与えることができるようプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の達成目標	●PJ2024への出場権がつかない国際競技大会において、派遣の前の教育を確実に実施する 今後、派遣の前の教育を受けることが当然の事となるよう、アスリート、サポートスタッフ、競技関係者全員と共通認識を持つ ●グリーンスポーツEducatior制度の導入により、Educatior候補者1名を輩出し、承認研修に参画させる

## ステップ7-1：モニタリングと評価を設定

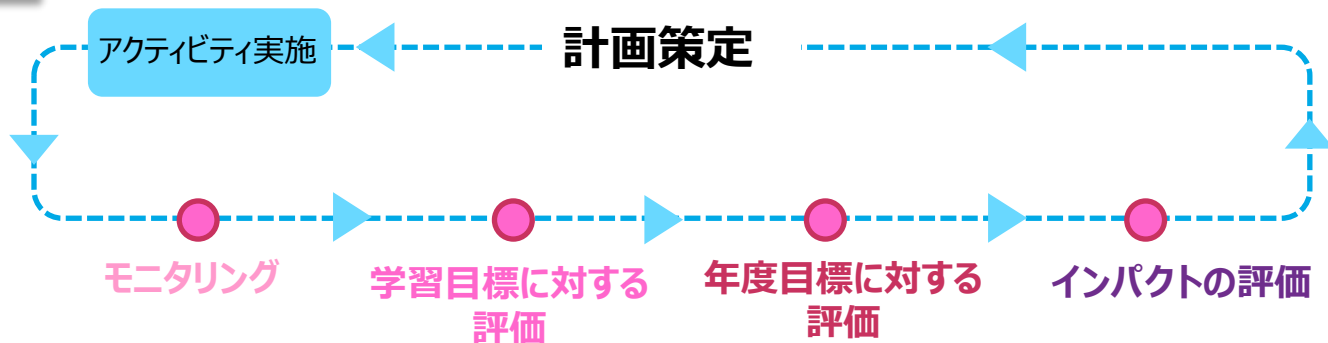
				派遣年的人数を記載してください。人数が不明な場合は、「1」でも構いません。						異なるターゲットに合同（共通）の研修会を実施する場合は、同じ番号を入れてください。											
ターゲットの カテゴリー	教育ター ゲット	人数	未成年 を含む	ターゲットに 関する 証書	教育ターゲット における派遣、 ニーズ ＜観察分析＞	教育ターゲットに 対する年度目標	研修会提供 された教育 事件	教育 アクティビティ の種類 ＜ブルダウンス＞	教育実施者 ※対面教育（オンライン 含む）の場合、承認 Educatorが実施	アクティビ ティのタイムラ イフ	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティビ ティ目標	実施モニタ リング 項目	評価額/方法		希望するJADA との連携 ＜ブルダウンス＞	メモ NOTE  ※アクティビティ計画 のねらいと調整		
												クリーンアスリート ガイド ＜ブルダウンス＞	クリーンアスリ ートガイド取 扱のための			定量	定性				
E 国際競技連盟（IF） 主催国際競技大会 への派遣アスリート および 参加サポート スタッフ  5年次割合含む	2023 世界選手権 派遣アスリ ートとサポ ートスタッ フ	15	0	大会開催： 2023年11月 XX日～11月 YY日 （ロンドンイ ギリス）	・2024年1月の国際大会出場権を獲得できる大会  ・派遣選手および、海外派遣に出るアスリートが多い。アスリート自身も必要な知識、行動力がある必要である  ・競技大会出場のための教育が求められている  ・PJ2024への出場権がつかない大会のため、派遣の前の教育を受けることが当然の事となるよう、アスリートとサポートスタッフの健康にスポーツに関わり、また次世代のアスリートへ良い影響を与えることができるようプログラムを構築する。	●110kgについて、ルールを熟知し、国内大会と海外大会の両方に対応できること	✓	A-1	対面式ワークショップ（オンライン）	山田 伸	2023年8月1日 まで	海外選手権（東京）	国内ヘルスマーケット	ADES読本 165ページ Factsheet	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が派遣前の教育を受けること	●参加人数 ●教育実施者からのフィードバック ●教育実施者からのフィードバック	●参加人数 ●教育実施者からのフィードバック ●教育実施者からのフィードバック	●参加人数 ●教育実施者からのフィードバック ●教育実施者からのフィードバック	【期待内容】 JADAのワークショップアスリートサポートスタッフ JLE 準備会 ▼		
						●自身のトレーニング行動を振り返る。また、サポートスタッフからのフィードバックを受けることができる	A-2	研修会のマーケティングリスト	2023年6月末	—	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が派遣前の教育を受けること	●参加人数 ●教育実施者からのフィードバック ●教育実施者からのフィードバック	【期待内容】 JADAのワークショップアスリートサポートスタッフ JLE 準備会 ▼								
						●ローカルチームとスポーツ関係者の連携、実施ができる	A-3	研修会のマーケティングリスト	2023年9月末	—	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が派遣前の教育を受けること	●参加人数 ●教育実施者からのフィードバック ●教育実施者からのフィードバック		【期待内容】 JADAのワークショップアスリートサポートスタッフ JLE 準備会 ▼							

7

モニタリングと評価を設定する

「2023年度教育年間計画表」

# モニタリングと評価



**モニタリング**：各教育ターゲットに対する年度目標の達成に向けた進捗状況の把握をすること  
定期的かつ時間の経過とともに、定量・定性的なデータを収集する必要あり

**学習目標に対する評価**：学習者が何を学習したか、何ができるようになったかの定量・定性的な評価  
※対面教育については、承認Educatorが評価を行う

**年度目標に対する評価**：年度目標が達成できたかの評価  
定量だけでなく、定性的な評価を検討できると良い（[年次](#)）

**インパクトの評価**：アスリートやサポートスタッフの行動にどのような影響を与えたかの評価（[複数年次](#)）  
複数年次で評価していくため、教育年間計画には記載の項目無し

# 2023年度 教育年間計画での記載

## ステップ7-1：モニタリングと評価を設定



- ✓ 全ての教育アクティビティにおいて「【ステップ4-1】教育アクティビティ目標」をもとに「モニタリング項目」「評価（定量）」を記入
- ✓ 「評価（定性）」は、検討することが可能な教育アクティビティにおいて記入

アクティビティ タイムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティビティ 目標	実施モニタ リング 項目	評価軸/方法		希望 と
		クリーン アスリート ガイド	クリーンア スリートガ イド以外の もの			定量	定性	
年8月1 まで	西が丘ナショナ ルトレーニング センター (東京)	国内レベルア スリート向け		・派遣するアスリートとサポート スタッフの100%がEランを修 了する	・コースの修了状況 (修了証の提出)	●Eラン修了者 人数	●教育実施者 からのフィードバック ●学習者フィード バック	
年6月末	-	-		・派遣するアスリートとサポート スタッフ全員に「JADAクリーン スポーツアスリートサイトの URL」「TUE申請先」のメ ールを発信する	・メーリングリスト受 信者のリアクション			
年9月末	-	-		・派遣するアスリートとサポート スタッフ100%に「宿泊先住 所」「現地練習スケジュール 住所」のメールを発信する	・メーリングリスト受 信者のリアクション			

7-1

「2023年度教育年間計画表」

- ・【ステップ3-2】で対面教育（対面式ワークショップ）を選択した場合、「評価（定性）」は、承認Educatorが必ず行います  
⇒「評価（定性）」の欄には、その旨記入
- ・P53-54に記載のJADAから提供できるデータについて確認

# JADAから提供できるデータ

各アクティビティのモニタリング、定量・定性的な評価を行うにあたり、  
JADAから加盟団体へ共有可能なデータ

## 1) クリーンスポーツ研修会フィードバック

- 対面式研修用スライド（申請制）には、「**学習者向け**」「**講師向け\***」の**フィードバックフォーム**がセットになっています
- 希望があれば、「学習者向けフィードバック」データを後日共有可能

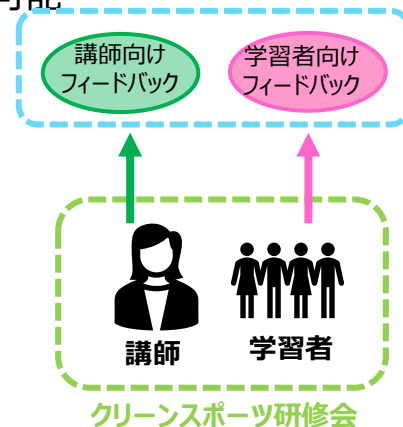
※スライド申請時に、データ共有の要望を記入ください

※「**学習者向け**」データの共有には、「**講師向けフィードバック**」の提出が必須

▼ 学習者向け



▼ 講師向け



講師と加盟団体の教育担当者へ  
「学習者向けフィードバック」データを共有



- ・学習目標の達成確認
- ・講師としての省察

\*「講師向け」フィードバックフォームは承認Educator制度開始後、運用が変更される可能性あり。

# JADAから提供できるデータ

## 2) リアルチャンピオンクイズ回答履歴

- クイズの参加・回答履歴について、JADAは「登録コード\*」で管理します  
※「登録コード」欄へ未入力であってもクイズの参加は可能
- 希望があれば、「登録コード」で出力したデータを後日共有可能

**\*各アウトリーチや研修会でNFにて「登録コード」を決め、学習者に事前に伝える必要あり！**

→ 名前      → 年齢      (Exit)

→ あなたは?      → 出身地 (※国体出場者の場合は出場都道府県)

→ 競技

→ 登録コード (競技団体等から指定があった場合は記入)  
半角英数字のみ

☐ クリーンスポーツ推進の目的にのみ、JADAが登録情報や回答履歴を所属先/派遣元/競技大会主催者に対して共有することに同意します。

クリーンスポーツって何? レベル1      クリーンスポーツを守ろう! レベル2      クリーンスポーツを創ろう! レベル3

## 3) ADEL受講状況

- ADELの受講状況の確認はWADAとの契約上、JADAのみが可能
- 学習者がアカウント登録で入力した「競技」で受講状況を出力、加盟団体へ共有可能

※受講状況の出力、共有のタイミングは「要望」ベースではなく、事前にJADAが定めたタイミングで行います

※学習者がアカウント登録時に「競技」を誤って登録した場合、共有データに含まれません



**原則、ADELの受講状況把握は  
学習者からの修了証の提出で  
管理ください**

# 8

## 計画を共有する

### 教育年間計画策定のステップ

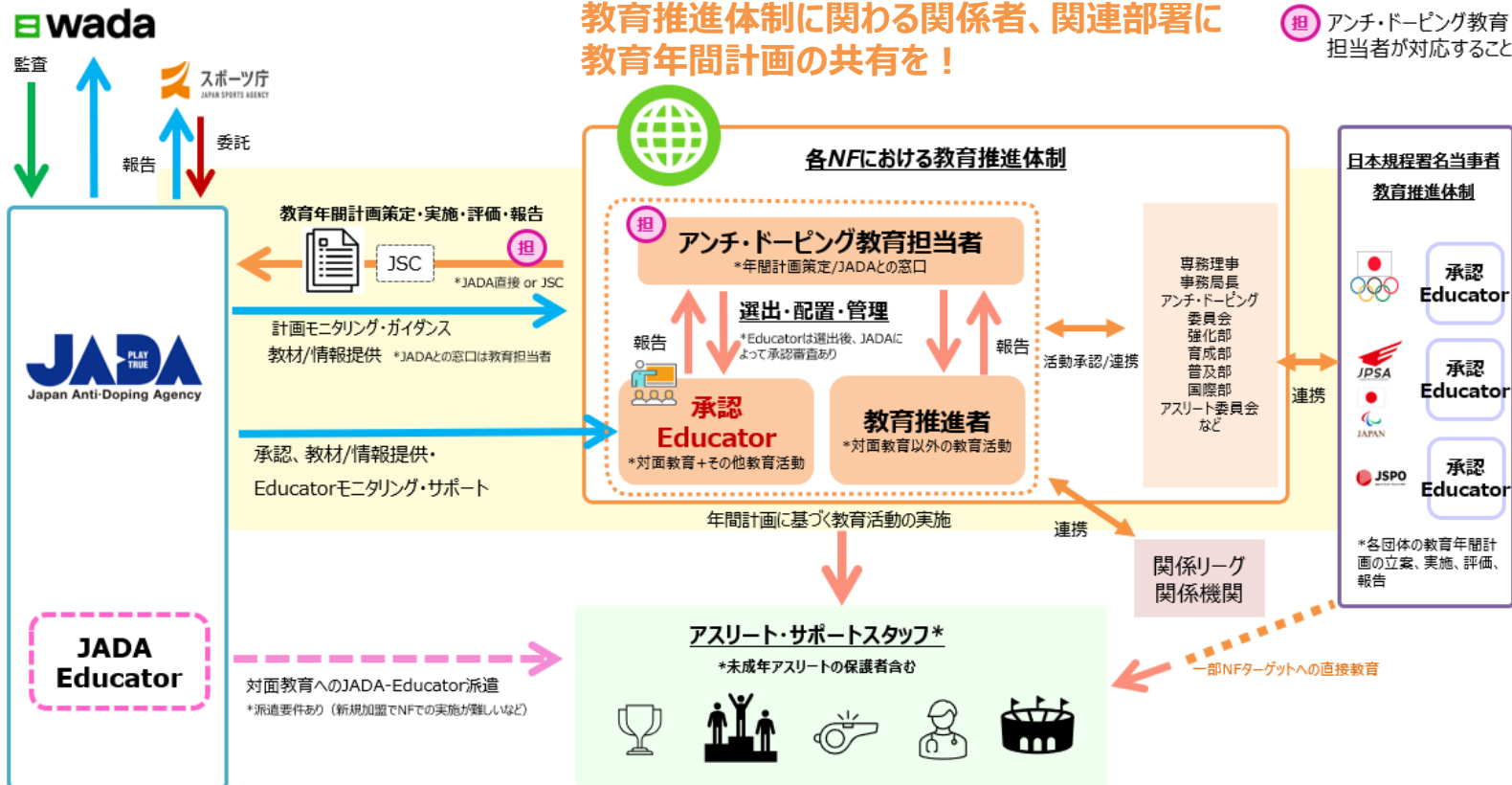
1. **教育ターゲット**を設定する
2. 各ターゲットに対する**年度目標**を設定する
3. **教育アクティビティ**を計画する
4. 各ターゲットの**アクティビティ目標**を設定する
- 承認Educatorが担う
  5. 各教育アクティビティで扱う**トピックス**を設定する
  6. 各教育アクティビティの**学習目標**を設定する
  7. **モニタリングと評価**を設定する
  8. 計画を**共有**する  
(団体内、JADA)



教育のタイミング（機会の活用）、各アクティビティの学習目標等をより適切に計画・実行するために

- ✓ 事務局・教育担当者・承認Educator・教育推進者間のさらなる連携・共有体制構築が必要
- ✓ 育成、強化プランに基づく、関係部署（強化の現場を含む）連携による教育推進が必要

# 2023年度からのNFにおける教育推進体制



# JADAとの連携/支援

# 2023年度 教育年間計画策定のステップ対応表

## 2023年度 アンチ・ドーピング教育年間計画 [記入例]

競技団体名	公益財団法人日本XXX連盟
種目名	YYY
計画承認者	(役職) XXX

※制作年度

教育プログラム全体の目的	強化プランに掲げるスポーツを通して社会にポジティブな影響を与え、アスリート、サポートスタッフを育成する。特に競技力だけでなくスポーツの価値、スポーツのインテグリティを表明、体験できるように、アスリートサポートスタッフへの教育が不可欠である。インテグリティ教育（その中のアンチ・ドーピング）も、強化のための必須プログラムと位置づけ、アスリートとサポートスタッフが誠実にスポーツに没頭し、また次世代のアスリートへ良い影響を与えらるべきプログラムを構築する。
2023年度の競技団体としての教育の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バド2024への出場権がかった国際競技大会において、派遣の前の教育を確実に実施する 今後、派遣の前に教育を受けることが当たり前のよう。アスリート、サポートスタッフ、競技団体内関係者と共通認識を持つ</li> <li>●クリーンスポーツEducator制度の導入により、Educator候補者1名を輩出し、承認研修に参加させる</li> </ul>

クリーンスポーツ教育の目的	<p>教育プログラムを通して、学級生は、知性、スキルを使い、自信を持つことで、スポーツを享受して楽しむことができる。さらにソーシャルスキルとエモーションスキルを学び、ライフスキルとして人権を向上させられることができる。それらを養って、自分で意思のある意思決定ができる。</p> <p>また、スポーツの価値、チカラを自分の生活にどう活かせるかを学び、スポーツの価値を通してより良い社会を創る行動ができる。</p> <p>教育プログラムを通して、特長にスポーツの価値を社会で体験していく人材が育ち、より良い社会を創ることができる。</p>
---------------	---

- 年間計画に記述のないものは、原則実行できない
- 教育ターゲットや、JADAが定める競技カテゴリーに基づき、目標に応じて、目標達成しない場合がある
- JADA-Educatorの派遣には要件がある（検討の際は、事前に確認ください）

				未成年の人数を記載してください。人数が不明な場合は、「？」でも構いません。			異なるターゲットに合同（共通）の研修会を実施する場合は、同一であることが必要です。同じ番号を入れてください。			Educatorが主体的な研修を行っていること。																			
ターゲットのカテゴリ	教育ターゲット	人数	未成年者を含む	ターゲットに関する証書	教育ターゲットにおける資源、ニーズ<現状分析>	教育ターゲットに対する年度目標	課外で提供された教育要件	教育アクティビティの提供<プログラム形式>	教育実施者 ※対面教育（オンライン含む）の場合、承認 Educator が実施	アクティビティのタイムライン	実施場所	使用する教材・資料		教育アクティビティ目標	実施モニタリング項目	評価額/方法		希望するJADAとの連携<プログラム形式>	メモ NOTE ※アクティビティ計画のねらいと記載										
												クリーンアスリートガイド<プログラム形式>	クリーンアスリートガイド以外のもの			定量	定性												
国際競技連盟（IF）主催国際競技大会への派遣アスリートおよびサポートスタッフ ※年代別含む	2023 世界選手権派遣アスリートとサポートスタッフ	15	0	大会開催：2023年11月XX日～11月YY日（ロンドンイギリス）	●選手権前夜と、海外遠征に出るアスリートが多数いるため、アスリート自身への教育の提供、行動が必要である  ●派遣大会出場のための要件が定められている	●11月10日～12日、ロンドンを訪問するアスリートとサポートスタッフの行動を監視する  ●自身やスタッフのサポート行動を監視する ※派遣大会出場のための要件が定められている  ●JADA、RITAが参加したため、指導が容易に期待できる	✓	A-1 初年度ワークショップ（オンライン）	山田 伸	2023年8月1日まで	両国ナショナルトレーニングセンター（東京）	国際ヘルムアスリートガイド	ADEIリーディングシート Factsheet	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加する	●参加人数 ●学習者メモ（100%） ●教育実施者からのフィードバック	●参加人数 ●学習者メモ（100%） ●教育実施者からのフィードバック	●教育実施者からのフィードバック ●参加人数 ●学習者メモ（100%） ●教育実施者からのフィードバック	希望するJADAとの連携<プログラム形式>	メモ NOTE ※アクティビティ計画のねらいと記載									
																					A-2 初年度ワークショップ（オンライン）	2023年6月末	－	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加する	●参加人数 ●学習者メモ（100%） ●教育実施者からのフィードバック	●参加人数 ●学習者メモ（100%） ●教育実施者からのフィードバック	希望するJADAとの連携<プログラム形式>	メモ NOTE ※アクティビティ計画のねらいと記載
																					A-3 初年度ワークショップ（オンライン）	2023年9月末	－	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加する	派遣するアスリートとサポートスタッフの100%が初年度ワークショップに参加する	●参加人数 ●学習者メモ（100%） ●教育実施者からのフィードバック	●参加人数 ●学習者メモ（100%） ●教育実施者からのフィードバック	希望するJADAとの連携<プログラム形式>	メモ NOTE ※アクティビティ計画のねらいと記載

JADAとの連携/支援

JADAとの連携/支援

「2023年度教育年間計画表」

# 2023年度 教育年間計画での記載

## JADAとの連携/支援

プルダウンから、以下のうち当てはまるものを選択

JADAとの連携/支援は、競技団体の教育年間計画に当該の教育アクティビティが記載されていることが必須（計画に記載がない場合、派遣や貸出はできません）

### ● JADA-Educatorの派遣

- ✓ 派遣に関する要件あり。個別にご案内します
- ✓ 2023年度は、「育成対象」に対する対面教育を重点的に支援（JADAにて派遣対象を選定）
- ✓ 派遣希望の教育ターゲットや、JADAが定める競技カテゴリに基づく上限によって、派遣できない場合あり
- ✓ 派遣の可否については、年間計画提出後に改めてJADAより連絡

### ● アウトリーチキットの貸出

- ✓ 原則、貸出に係る送料は競技団体負担
- ✓ 貸出物の紛失、破損があった場合は別途請求させていただきます

### JADA Fair Pride Eラーニング

2023年度よりADELの活用推奨のため、一律のご案内は行いません  
個別の事情でADELの使用が難しい場合は、JADAへご相談ください

教育アクティビティ 目標	実施モニタ リング 項目	評価軸/方法		希望するJADA との連携	メモ NOTE  ※アクティビティ計画 のねらいなど記載
		定量	定性		
派遣するアスリートとサポート スタッフの100%がモランを修 める	・コースの修了状況 (修了証の提出)	●Eラン修了者 人数	●教育実施者 からのフィードバック ●学習者フィードバック		
派遣するアスリートとサポート スタッフ全員に「JADAグリーン ボーツアスリートサイトの RL」「TUE申請先」のメ ールを発信する	・メーリングリスト受 信者のアクション				【発信内容】 ●JADAグリーンボーツアスリート サイトのURL ●TUE申請先
派遣するアスリートとサポート スタッフ100%に「宿泊先住 」「現地練習スケジュール」のメ ールを発信する	・メーリングリスト受 信者のアクション				【発信内容】 ●IF/JADA- RTPがあるため ●宿泊先住所 ●現地練習スケジュール & 住所

「2023年度教育年間計画表」

新規JADA加盟団体については、別途サポートあり

# 2023年度 教材・ツール一覧 20211ver.

近日、「教育推進のためのマテリアル等申請ページ」を公開  
⇒競技団体への教材・マテリアルの案内は、今後このページを介して行っていきます

教材・ツール一覧（参考）と、JADAクリーンスポーツ・アスリートサイトの  
RESOURCES（資料）ページを確認し、教育年間計画に基づき、以下の  
観点にて教材を検討ください



# 教育推進のためのマテリアル等申請ページ

競技団体への教材・マテリアル等の案内は、今後このページを介して行っていきます  
(近日公開)



教材・マテリアルの申請フォームを  
1つのページに！

JADA加盟競技団体対象：受付中の申請フォーム一覧



研修会スライド申請



教材申請



※2022年度の日本語教材申請の受付は終了しました



講師派遣申請



競技大会における教育関連ツール申請



教育ターゲットに応じて、JADA推奨の  
教材・マテリアルを確認→活用へ！



国際競技連盟 (IF)  
主催国際競技大会参加



強化対象



国内最高レベル競技大会参加



育成対象 (ユース/ジュニア、  
年代別選抜/合宿参加等)



国際競技連盟 (IF) 主催国際競技大会参加

最低限押さえるポイント

大会派遣前に教育を実施 (IFから要件が指定される場合あり) スポーツの価値を創る働き  
かけができる



対面教育

推奨

派遣前に実施

研修会スライド申請

教材申請

講師派遣申請



E-ラーニング

強く推奨

教育推進のための  
新しい教材・マテリアル  
＜2022年度公開＞





# クリーンスポーツ研修会スライド①

リニューアルされました！

## クリーンアスリートガイド（国内レベルアスリート向け）に基づく対面式研修用スライド

教育目標：アンチ・ドーピングのルールやアスリートの権利と責務について理解を深め、学習者が正しい情報のもと自身で適切に意思決定・行動できるようになること



### 11トピックスにもとづく7つのカテゴリー



## 11トピックスをカバー

教育に関する国際基準で要請されている、11トピックスの全てが、スライド内でカバーされている

2023年度からクリーンスポーツEducator制度が開始されたら、承認Educatorのみが使用可能

# クリーンスポーツ研修会スライド②



## 教育の相乗効果を高める 本スライドと各マテリアルと の連動性



スライドの活用と併せて、  
クリーンアスリートガイドの  
活用、リンクバナーの申  
請を検討



<https://www.realchampion.jp/resources/000216.html>

### 研修会スライド

理解する  
具体的な行動を共有する

3つのマテリアルは、視覚的・内容構成において  
連動性を持たせています。  
各マテリアルや教育手法を、  
教育ターゲットに応じて組み合わせて活用し、  
学習者が長期的に一貫した学びを深めることができるよう  
教育プログラムを策定しましょう。



<https://www.realchampion.jp/resources/000211.html>

### クリーンアスリートガイド

認識する(気づく・知る)  
理解する







<https://www.realchampion.jp/>

### クリーンスポーツ・ アスリートサイト

自ら最新情報を得て行動する  
Basic Learning で理解を深める

# ADEL（日本語版）①

「国内レベル&国際レベルアスリート教育プログラム：日本語版コース」が公開！

 New	 New
国内レベルアスリート向けの ADELコース (JAP)	国際レベルアスリート向け教育プログラム (日本語 / Japanese)
ENROLLED ★ 5.0	ENROLLED 2 courses
 E-Learning	 Education Program

- 国内レベルと国際レベルの内容は、大部分が同じです  
(国内レベルのコースを受講しているアスリートが、居場所情報に関するコンテンツを受講したい場合は、RTPコースに飛んで別途受講。国際レベルのコースには、すでにRTPコースの内容が含まれます)
- 各コースの受講には約2時間程度必要です



WADAが世界的に提供しているクリーンスポーツ教育のデジタルプラットフォーム



- ✓ 受講には自身で**アカウント登録**が必要
- ✓ 発行される**修了証**にて受講管理可能
- ✓ 国際競技連盟 (IF) や競技大会出場等の要件として**受講が義務付けられる場合あり**  
→「**受講コース**」、「**修了証の有効期間**」は、受講要件を定めた団体に確認が必要 (JADAの場合1年)

# ADEL (日本語版) ②

## 【その他の現在公開中の日本語版コース】

＜RTP - 居場所情報の基本＞		Registered Testing Pool athletes	
アスリートガイド 2021年版世界アンチ・ドーピング規程 (2021Code)における重要な変更点		Athlete's Guide to the 2021 Code	
アスリートサポートスタッフガイド 2021年版世界アンチ・ドーピング規程 (2021Code)における重要な変更点		An Athlete Support Personnel Guide to the Significant Changes in the 2021 Code	
At-a-Glance	アンチ・ドーピング について 重要ポイントの紹介	At-a-Glance: Anti-Doping Overview	
	治療使用特例 (TUE)	At-a-Glance: Therapeutic Use Exemptions (TUE)	
	アスリートの居場所情報	At-a-Glance: Athlete Whereabouts	
Fact sheet	糖質コルチコイドの注射使用	Factsheet for athletes and ASPs - glucocorticoid injection education	
	医療従事者 糖質コルチコイドの注射使用	Factsheet for medical professionals - glucocorticoid injection	

# PLAY TRUE Planet (プレイ・トゥルー・プラネット)

専用WEBページがまもなく公開！

スマートフォンや、パソコンからアクセスして、「スポーツの価値」のメッセージを投稿する参加型のアクティビティ



- ✓ 日本の伝統色と模様のアイコンと一緒にメッセージ表現が可能

→誰でも参加しやすい



尊敬



フェアネス



楽しい



友情



決意

など



- ✓ 集まったメッセージをもとに、世界に1つだけのアートが制作されます

東京2020大会の  
レガシープロジェクト！



SPORT  
FOR  
TOMORROW



## 【活用の例】

- ワークショップでスポーツの価値を考えた後に、自身の考えを投稿させる
- 競技大会のアウトリーチブースで非接触型のアクティビティとして、観客も含めてスポーツの価値を発信する



# 2023年度教材・ツール一覧（参考） 202211ver.

クリーンスポーツ・アスリートサイトのRESOURCES（資料）ページを確認ください！

<https://www.realchampion.jp/resources/>

✉ JADA 教育部：JADA-

Education@playtruejapan.org

マテリアル	活用場面・ツール（例）
<b>①Webバナー</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：競技団体の公式WEBサイトや、競技大会ページ内でJADAクリーンスポーツ・アスリートサイトへのリンクを設置</li> <li>■仕様：縦横比固定、サイズは変更可のJPEGデータ</li> <li>■入手方法：フォームより申請頂きます。教育部宛にご連絡ください。</li> </ul>	 <b>WEBサイト</b>
<b>②啓発ページ</b>  <b>新規制作中</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：競技団体のロゴを挿入の上、大会プログラムや刊行誌へ掲載</li> <li>■仕様：A1/A4/A5サイズ（カラー及びモノクロ版）の各種ai及びPPTデータ</li> <li>■入手方法：教育部宛にご連絡ください。</li> </ul>	 <b>競技大会における教育（EBE）</b>
<b>③サインフラッグ</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：アスリートのサインやアンチ・ドーピングのメッセージの記入、写真撮影に使用</li> <li>■仕様：W1200×H900mm</li> <li>■入手方法：2020年2月時点で加盟団体様へ各3枚送付済</li> </ul>	 <b>競技大会における教育（EBE）</b>
<b>④横断幕</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：大会やイベント等でアスリートや観客の目に触れる場所に掲示</li> <li>■仕様：W3000×H900mm</li> <li>■入手方法：2020年2月時点で加盟団体様へ各1枚送付済</li> </ul>	 <b>スポーツの価値発信</b>

マテリアル	活用場面・ツール（例）
<b>⑤SNS</b>  <b>#FairPride #iplaytrue</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：JADA公式Facebook、Twitter、Instagramにてアンチ・ドーピングに関する最新情報や啓発メッセージを確認</li> <li>※NFにて情報発信、スポーツの価値の発信をする際は、ぜひ「#FairPride」「iplaytrue」のハッシュタグ付けて発信ください！</li> </ul>	 <b>競技大会における教育（EBE）</b>  <b>スポーツの価値発信</b>
<b>⑥ポスター</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：大会やイベント等でアスリートや観客の目に触れる場所に掲示</li> <li>■仕様：A1/A2サイズ</li> <li>■入手方法：2020年2月時点での加盟団体様へ2種（A2サイズ）各3枚送付済。アウトリーチキットの1つとしてもお貸出し可能。</li> <li>■申請フォーム：<a href="https://www.playtruejapan.org/jada/form_outreach.html">https://www.playtruejapan.org/jada/form_outreach.html</a></li> </ul>	 <b>競技大会における教育（EBE）</b>
<b>⑦アウトリーチ用クイズ</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：アウトリーチプログラム内で活用（シニア用とジュニア用の2種）</li> <li>■仕様：ai及びpptデータ</li> <li>■入手方法：JADA公式WEBサイトより申請</li> <li>■申請フォーム：<a href="https://www.playtruejapan.org/jada/form_outreach.html">https://www.playtruejapan.org/jada/form_outreach.html</a></li> </ul>	 <b>競技大会における教育（EBE）</b>
<b>⑧リアルチャンピオンクイズ</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：レベル1～レベル3の難易度で、アスリートやサポートスタッフが様々なシチュエーションにおいてクリーンスポーツ行動がどのようなものかをクイズ形式で学ぶ、確認するWEBアプリ</li> <li>※問題は定期的に入れ替えを行います</li> <li>■アスリートサイト：<a href="https://www.realchampion.jp/basic-learning/game/quiz/ja/">https://www.realchampion.jp/basic-learning/game/quiz/ja/</a></li> </ul>	 <b>対面教育</b>  <b>競技大会における教育（EBE）</b>





# 2023年度教材・ツール一覧（参考） 202211ver.

クリーンスポーツ・アスリートサイトのRESOURCES（資料）ページを確認ください！

<https://www.realchampion.jp/resources/>

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル	活用場面・ツール（例）
<p>⑨ クリーンアスリートガイド 国内レベルアスリート向け</p> 	<p>■用途：最新のアンチ・ドーピング規程に基づくルールをアスリートが理解し、自身のクリーンスポーツ行動を取れるためのガイドブック</p> <p>■仕様：A5サイズ</p> <p>■入手方法：教育年間計画に基づく冊子申請</p> <p>デジタル版： <a href="https://www.realchampion.jp/resources/00021.1.html">https://www.realchampion.jp/resources/00021.1.html</a></p>
<p>⑩ クリーンアスリートガイド ユースアスリート向け</p> 	<p>■用途：アスリートがアンチ・ドーピングの理念やクリーンスポーツの意義を理解し、最新のアンチ・ドーピング規程に基づき、ルールを学ぶためのガイドブック ■仕様：A5サイズで制作中</p> <p>■入手方法：教育年間計画に基づく冊子申請</p> <p>デジタル版： <a href="https://www.realchampion.jp/resources/00021.2.html">https://www.realchampion.jp/resources/00021.2.html</a></p>
<p>⑪ クリーンスポーツ に参加する みんなの権利リーフレット</p> 	<p>■用途：アンチ・ドーピングにおけるアスリートの権利宣言の内容をイラスト付きで解説</p> <p>■仕様：A4サイズ・28頁</p> <p>■入手方法：ダウンロード可能</p> <p>アスリートサイト： <a href="https://www.realchampion.jp/resources/0001.61.html">https://www.realchampion.jp/resources/0001.61.html</a></p>
<p>⑫ クリーンスポーツ に参加する みんなの権利（動画）</p>	<p>■用途：アンチ・ドーピングにおけるアスリートの権利宣言の内容を動画で解説</p> <p>■仕様：動画</p> <p>■入手方法： アスリートサイト： <a href="https://www.realchampion.jp/resources/000205.html">https://www.realchampion.jp/resources/000205.html</a></p>



対面教育



WEBサイト



教材

マテリアル	活用場面・ツール（例）
<p>⑬ 医療従事者 ポータル</p> 	<p>■用途：医療従事者が禁止物質・方法やTUE申請について確認。TUE申請に必要な書類や医療従事者への情報提供用のリーフレットもダウンロード可能</p> <p>■医療従事者向けサイト： <a href="https://www.playtruejapan.org/medical-staff/">https://www.playtruejapan.org/medical-staff/</a></p>
<p>⑭ JADA公式 Webサイト</p> 	<p>■用途：最新のアンチ・ドーピングに関する情報やJADAからのお知らせが確認できる公式サイト</p> <p>■JADA公式Webサイト： <a href="https://www.playtruejapan.org/">https://www.playtruejapan.org/</a></p>
<p>⑮ アスリートサイト</p> 	<p>■用途：アスリートやサポートスタッフに必要なスポーツの価値の考え方、知識やルールを分かりやすく解説。ルールや手続きの解説に加えて、学習するコンテンツを掲載</p> <p>■アスリートサイト：<a href="https://www.realchampion.jp/">https://www.realchampion.jp/</a></p>
<p>⑯ FAIR PRIDE アスリート インタビュー</p> 	<p>■用途：ロールモデルとなるアスリートがアンチ・ドーピングやスポーツへの価値、自身の価値観を語るインタビュー教材</p> <p>■仕様：動画及びリーフレット（全5種類）</p> <p>■入手方法：JADA公式WEBサイトより視聴可能</p> <p>URL： <a href="https://www.realchampion.jp/fairprideinterview/index.html">https://www.realchampion.jp/fairprideinterview/index.html</a></p>



対面教育



WEBサイト



教材



競技大会  
における教育  
(EBE)

# 2023年度教材・ツール一覧（参考） 202211ver.

クリーンスポーツ・アスリートサイトのRESOURCES（資料）ページを確認ください！

<https://www.realchampion.jp/resources/>

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル		活用場面 ・ツール (例)
<b>⑰ アスリートガイド</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：世界アンチ・ドーピング規程の改定点をアスリート向けに解説（WADAが開発したガイドをJADAにて翻訳）</li> <li>■仕様：A4サイズ・28頁</li> <li>■入手方法： アスリートサイトよりダウンロード可能 アスリートサイト：<a href="https://www.realchampion.jp/">https://www.realchampion.jp/</a></li> </ul>	
<b>⑱ アスリートサポートスタッフガイド</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：世界アンチ・ドーピング規程の改定点をアスリートサポートスタッフ向けに解説（WADAが開発したガイドをJADAにて翻訳）</li> <li>■仕様：A4サイズ・28頁</li> <li>■入手方法： アスリートサイトよりダウンロード可能 アスリートサイト：<a href="https://www.realchampion.jp/">https://www.realchampion.jp/</a></li> </ul>	 <b>対面教育</b>
<b>⑲ At-a-Glance</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：アンチ・ドーピングのルールをトピックスごとにポイントまとめたアスリート向けガイド（WADAが開発したガイドをJADAにて翻訳） 現時点で、「アンチ・ドーピングについて」「治療使用特例」「競技者の居場所情報」の3種公開中</li> <li>■入手方法：ADELより閲覧可能 ADEL：<a href="https://adel.wada-ama.org/learn">https://adel.wada-ama.org/learn</a></li> </ul>	 <b>教材</b>
<b>⑳ WADA ADEL</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：WADA制作アンチ・ドーピングeラーニングシステムADEL。各教育対象に合わせたeラーニングコースを受講可能</li> <li>■利用方法： どなたでもアカウントを登録の上利用可能</li> <li>■ADEL：<a href="https://adel.wada-ama.org/learn">https://adel.wada-ama.org/learn</a></li> </ul>	 <b>eラーニング (ADEL)</b>

マテリアル		活用場面 ・ツール (例)
<b>㉑ 11トピックス ウェビナー</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：ISEに記載されている11のトピックそれぞれを解説したウェビナー動画。クリーンスポーツ・アスリートサイトとの運動を持たせ、アスリート、サポートスタッフ自身で学習が進められます</li> <li>■利用方法：JADAクリーンスポーツ・アスリートサイトにおいて公開予定 URL： <a href="https://www.realchampion.jp/">https://www.realchampion.jp/</a></li> </ul>	 <b>ウェブサイト 競技大会 における教育 (EBE)</b>
<b>㉒ PLAY TRUE リレー</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：国や競技、世代の異なる様々なアスリートたちによる、スポーツや人生を通して大切にしている自身の「TRUTH」についてのメッセージ</li> <li>■入手方法：PLAY TRUE 2020特設サイトより確認可能 URL： <a href="https://www.playtrue2020sp4t.jp/ptrelay/jp/library/">https://www.playtrue2020sp4t.jp/ptrelay/jp/library/</a></li> </ul>	 <b>競技大会 における教育 (EBE)</b>
<b>㉓ スポーツの価値を つなぐ</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：「スポーツの価値」を学び、自分自身で「スポーツの価値」を考えるためのナビゲート動画</li> <li>■入手方法： URL： <a href="https://www.youtube.com/watch?v=6r8gN24FLX8&amp;t=8s">https://www.youtube.com/watch?v=6r8gN24FLX8&amp;t=8s</a></li> </ul>	 <b>対面教育</b>
<b>㉔ マンガムービー</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■用途：言葉では表現することが難しい「スポーツの価値」を考え、学ぶための、言葉に依拠しないマンガムービー（15本）</li> <li>■入手方法： URL <a href="https://www.youtube.com/user/JADAMovie/videos">https://www.youtube.com/user/JADAMovie/videos</a></li> </ul>	 <b>教材 スポーツの価値発信</b>



# 2023年度教材・ツール一覧（参考） 202211ver.

クリーンスポーツ・アスリートサイトのRESOURCES（資料）ページを確認ください！

<https://www.realchampion.jp/resources/>

✉ JADA 教育部：JADA-Education@playtruejapan.org

マテリアル		活用場面 ・ツール (例)
<p>②⑤マンガ検査手順</p> 	<p>■用途：将来ドーピング検査を受ける可能性のあるユースアスリートが検査手順を確認。シニアアスリートもいつでもチェック可能</p> <p>■仕様：A4サイズ※掲載のQRコードより動画も確認可能</p> <p>■入手方法：教育部宛にご連絡ください。</p>	<p> 対面教育</p> <p> 競技大会における教育 (EBE)</p> <p> 教材</p>
<p>②⑥マンガ検査手順 (動画)</p> 	<p>■用途：ドーピング検査の対象となるアスリートは誰でも検査手順を確認</p> <p>■仕様：動画</p> <p>■入手方法： <a href="https://www.youtube.com/watch?v=UNb6-6saMAg">https://www.youtube.com/watch?v=UNb6-6saMAg</a></p>	<p> 教材</p>
<p>②⑦居場所情報提出ガイド</p> 	<p>■用途：RTP/TP向けに、居場所情報のルールと、ADAMS及びAthlete Central（アプリ）を通じた居場所情報の提出・更新方法を解説</p> <p>■仕様：A4サイズ</p> <p>■入手方法： アスリートサイトよりダウンロード可能 アスリートサイト： <a href="https://www.realchampion.jp/process/adams">https://www.realchampion.jp/process/adams</a></p>	<p> 教材</p>

国際競技大会での教育や日本語以外  
(ノンバーバル・ユニバーサル適用) の教材については、  
以下サイトにてご確認ください

[https://playtrue2020-sp4t.jp/edu\\_package/](https://playtrue2020-sp4t.jp/edu_package/)



Mar.29, 2021 [NEW "Real Champion Education Package INTRO" Clip](#)

Jun.25, 2020 [NEW Materials \(Based on Rules\) are available, in line with the 2021 World Anti-Doping Code:](#)

Dec.04, 2019 [New Material and Case Example!](#)

多言語にて展開中！

詳細は、JADA教育部までお問い合わせください

＜対応言語の一例＞

- ・英語
- ・フランス語
- ・スペイン語
- ・アラビア語
- ・ロシア語
- ・ベトナム語
- ・マレー語
- ・テトウン語

AND MORE

